SPEEDIA N4 614

ハードウェアマニュアル

消耗品の交換、用紙の補給、オプションの取付、トラブルの解決方法等、プリンタの機械的な操作方法について記載されています。

T-629P-2E
MA0203-F　2002年6月24日　第6版発行

目　次

本書中のマークと表記について

マークについて

本書では、以下のマークによって、ご注意いただきたい重要事項や、取り扱い上の補足説明を記載しています。
マークの付いている記述は、必ずお読みください。

この記載に従わないで誤った取り扱いをすると、プリンタが故障する事が想定される内容を記載しています。

取り扱い上の補足説明や、ご確認いただきたい事を記載しています。

☞ **関連した内容の参照先を示しています。**

☞ **この色になっている項目をクリックすると、該当するページを参照できます。（元の画面に戻りたいときはAcrobat Reader の ⬅「前の画面」ボタンを押します。）**

表記について

本書では、パソコンのオペレーティングシステムを以下のように省略して記載する事があります。

<正式名称>

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版

<省略記載>

Windows95
Windows98
WindowsNT4.0
Windows2000
WindowsMe
WindowsXP

総称する場合は「Windows」と記載する場合があります。
併記する場合は「Windows95/98/NT4.0/2000」のように「Windows」を省略する場合があります。

Windows の画面について

本書に掲載の Windows のパソコン画面は、特に指定がない限り、Windows98 の画面を例に使用しています。

諸注意事項

本書の適用機種

本書は以下の製品を安全に正しくお使いいただくための取扱説明書です。製品をご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中もお手元に置いてご活用ください。

● SPEEDIA N4-614
● SPEEDIA N4-614P

保証について

プリンタ本体に同梱の「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、投函してください。着信しだいお客様の登録手続きを行ない、保証書をお送りいたします。

☞ **付録 7. 保証について（101 ページ）**

瞬時電圧低下耐力について

本装置は落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じる事があります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こす事があります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求される事があります。

高調波対策について

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

印刷内容に関するご注意

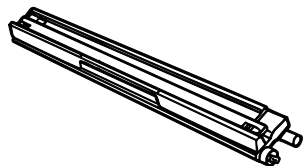
● 通貨・有価証券等を不正に印刷する事は、法律により禁止されています。

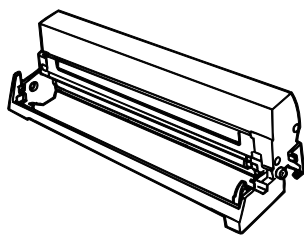
ご　注　意

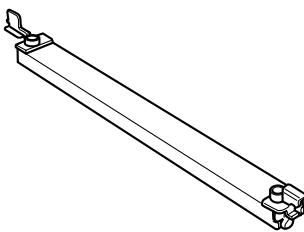
(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載する事を禁止します。
(2) 本書の内容は将来予告なしに変更する事があります。
(3) 本書に記載されなかった最新の情報がプリンタドライバの「ヘルプ」もしくはテキストファイル「README.TXT」に記載される事があります。その他最新の製品情報やプリンタドライバのダウンロードサービスをインターネットでご提供しております。
http://www.casio.co.jp/ppr/
(4) 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社指定のもの以外の第三者による修理・改造および、当社純正品以外のオプションまたは消耗品を使用した事等に起因して生じた障害及び、トラブル等につきましては、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 「PC-PR201H」「201H」は日本電気株式会社の登録商標です。
(8) 「ESC/P」、「ESC/Page」は、セイコーエプソン株式会社の商標です。
(9) 「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は米国Microsoft corporationの米国ならびに他の国における登録商標です。
(10) 本プリンタにはHi/fn ™製LZS®圧縮を内蔵しています。LZS®はHi/fn Inc.の商標であり、米国特許(No.4701745, 5016009, 5126739, 5146221, 5414425, 5463390, 5506580)に関してライセンスされています。
(11) その他の社名、商品名およびソフトウェア名は、一般に各社の商標または登録商標です。

1. 消耗品の交換方法

1.1 消耗品について

●ドラムセット

色別にブラック、イエロー、シアン、マゼンタの4種類があります。
ブラック　：N4-612DSK
（定着クリーナ１本付き）
カラー　　：N4-612DS3C
（イエロー、シアン、マゼンタの３色セット）

●トナーセット

色別にブラック、イエロー、シアン、マゼンタの4種類があります。
ブラック　：N4-612TSK-SP
イエロー　：N4-612TSY
シアン　　：N4-612TSC
マゼンタ　：N4-612TSM

●定着クリーナ

定着ユニットの熱ローラの汚れを取り除いたり、オイルを供給しています。
定着クリーナ：N4-612TCLN

⚠ 注 意

- **トナーは人体に無害ですが、手や皮膚についたときはすぐに洗ってください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し、眼科医の診療を受けてください。**
- **幼児の手の届かないところに保管してください。**
- **ドラム・トナーセット交換の際は、トナーで周囲を汚さないように紙などを敷いてから行なってください。トナーが衣服に付いたときは、ぬらさずに掃除機で吸い取ってください。**

取り扱い上のご注意

- ドラムセットの感光体ドラム（青緑色の筒）やトナーセットの現像ロール（トナーが供給されるロール）に傷や汚れが付くと、画像が汚れたり黒スジが印刷されるようになります。この場合新しい消耗品に交換しないと直りませんので、ご注意ください。
- 室内の灯りの下でも、ドラムセットを５分以上放置しないでください。
- ドラムセットをプリンタから取り外した場合は、強い光にあてないよう厚い布などに包んでください。

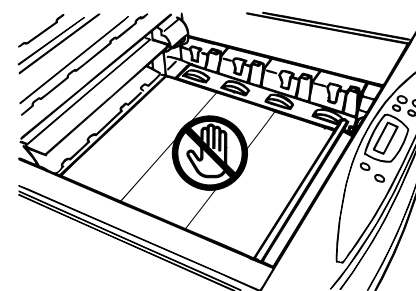
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- トナーセットの現像ロール（トナーが付着している部分）にホコリやゴミ（ステープルの針、クリップなど）が付着しないよう取り扱いにご注意ください。
- 立てたり、逆さまにして置かないでください。
- 分解や改造はしないでください。

消耗品保管上のご注意

- 使用するまで開封しないでください。
- 直射日光を避け、標準梱包状態にて温度0～35℃、湿度20～80%の結露しない場所に保管してください。
- 立てたり逆さまにして保管しないでください。

注意！ **消耗品はカシオ純正品をご使用ください。純正品以外のご使用は、印字品質の低下だけでなく、プリンタ本体の故障の原因となる場合があります。プリンタ本来の性能を十分発揮し、快適な出力環境でご使用いただくために、カシオ純正の消耗品をご使用ください。**

ポイント **トナーセットやドラムセットを交換の際にトナーがこぼれる事があります。紙などを敷いて作業してください。**

⚠ 注 意

ドラム・トナーセット交換時はルーフを開ける必要があります。ルーフを開けるときは、次の部分に手を触れないようご注意ください。

① 転写ベルト............ 画像不良の原因になります。
② 内部の突起物........ けがをするおそれがあります。
③ ルーフ内側の
LEDヘッド .... 画像不良の原因になります。

プリンタ内部のローラやギヤなどの部品に手を触れないでください。部品のエッジ等でけがをすることがあります。

トナーやドラムに毒性はありませんが、手や皮膚についたときはすぐに洗い流してください。万一トナーが目に入ったときは、すぐに水道の水で目に入ったトナーを洗い流し眼科医の診察を受けてください。

1.2 使用済みの消耗品について

⚠ 注 意

使用済みのドラムセット、トナーセット、定着クリーナは焼却しないでください。一部可燃性の部材を使用していますので、火災・やけど・ガスの発生など、思わぬ事故の原因になる事があります。

<使用済み消耗品の無償回収について>

カシオ計算機は、お客様でご使用済みとなりましたドラム・トナーセットを、地球環境保全と資源の有効活用のために無料にて回収をしております。
弊社の環境保全活動にご協力賜りたく、ご案内申し上げます。

<回収のお申し込み方法>

ご使用済みのカシオ製ドラム・トナーセット回収のご用命は、ドラム・トナーセットに同梱の「ドラム・トナーセット回収申込書」に必要事項をご記入の上、ファクシミリでお送りいただくか、弊社ホームページにてお申し込みください。
後日、宅配業者が回収にお伺いいたします。（費用は弊社にて負担させていただきます）
回収申込ファクシミリ番号、回収申込ホームページなど、詳細は新しい消耗品に同梱の案内書をご覧ください。

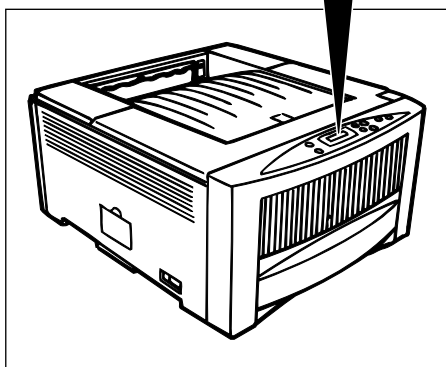
<お願い>

お手数ですが、ご使用済みのドラム・トナーセットは、新しいドラム・トナーセットが入っていた梱包箱・ポリ袋・緩衝材を再使用し、元通りに梱包して宅配業者にお渡しください。
１個でも回収にお伺いしますが、環境への負荷を極力低減するために、３～５個をまとめて、ガムテープなどでしばってください。

やむを得ず、使用済み消耗品を処分されるときは、必ず地域の条例や自治体の指示に従ってください。

1.3 ドラムセットの交換方法

（表示例）

ド゛ラム　コウカン　　　KYCM

メッセージランプが点滅し、左の様なメッセージが表示されてプリンタが停止しているときはドラムセットの交換時期です。
次の手順にしたがって新しいドラムセットに交換してください。

この表示のとき、取消ボタンを押すと、メッセージランプが点灯に変わり印刷を再開します。
ただし、このまま印刷すると印刷が薄くなったり、画像が汚れるようになります。
さらに印刷を続けると、プリンタの故障の原因となりますので、早めにドラムセットを交換してください。

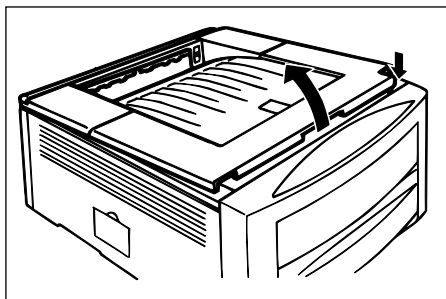
1.　古いドラムセットを取り外します

ド゛ラム　コウカン　　　K

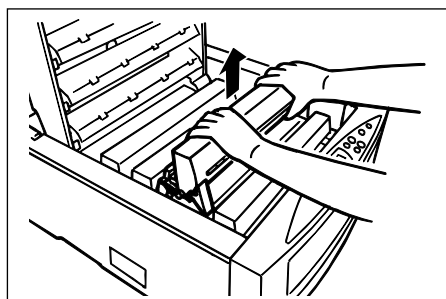
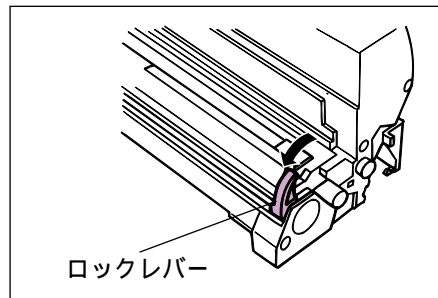
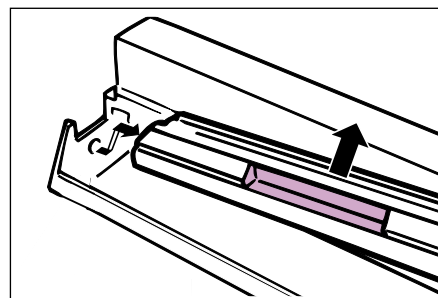
K：ブラック
Y：イエロー
C：シアン
M：マゼンタ

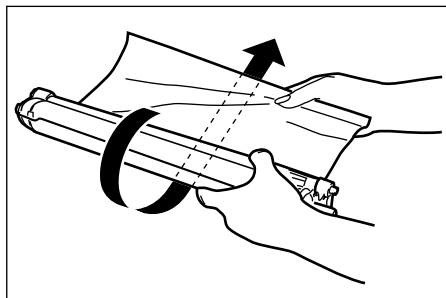
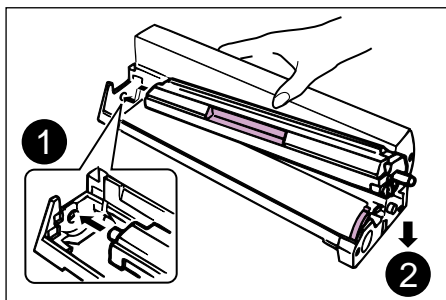
1 **どの色のドラムセットが交換時期かを確認します。図の例ではブラックのドラムセットが交換時期です。**

ポイント **通常イエロー、シアン、マゼンタは同時に交換時期になり、ブラックは単独で交換時期になります。**

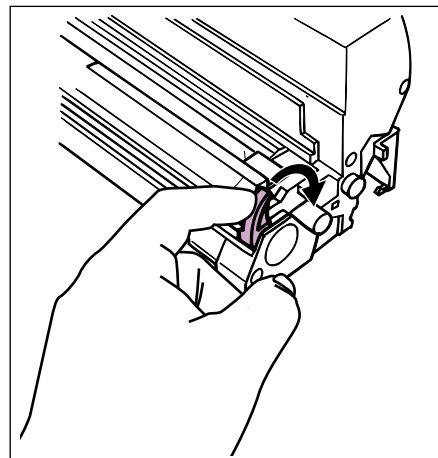
イエロー、シアン、マゼンタのドラムセットは、できるだけ3色同時に交換してください。もし、1色又は2色だけが交換時期になったときは、取消ボタンを押して3色全部が交換時期になるまで使用してください。

2 ルーフ上の用紙を取り除きます。ルーフの右手前にあるルーフ解除ボタンを押してロックを解除し、ルーフを開けます。

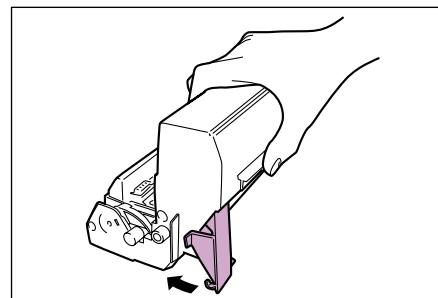
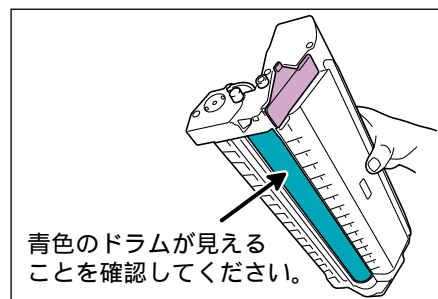
注 意

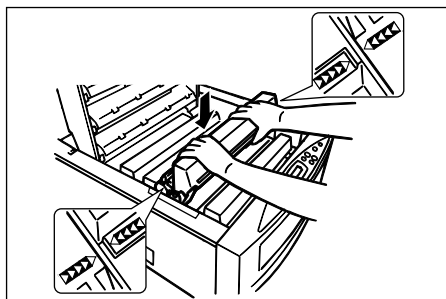
ルーフは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたルーフに手を触れると、ルーフが閉じて手などを挟まれ、けがをすることがあります。

3 使用済みのドラム・トナーセット（ドラムセットとトナーセットが組み合わさった現像ユニット）を図のように持ち、ゆっくり引き出します。

4 テーブルなどの平らな場所に紙を下に敷いてドラム・トナーセットを置き、図のようにロックレバー（紫色）を起こしてドラムセットのロックを解除します。

5 ドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、古いドラムセットをトナーセットから取り外します。

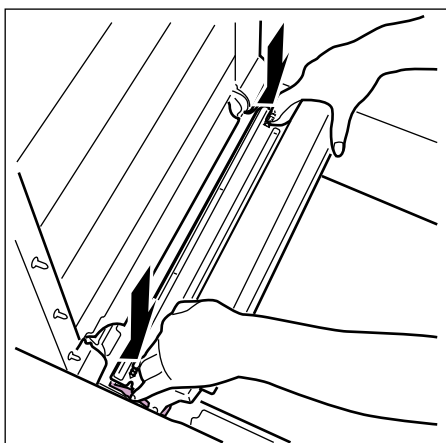
2.　新しいドラムセットを取り付けます

1 トナーセットと同じ色の新しいドラムセットを箱から取り出し、保護シートをはがします。

2 ドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、ドラムセットのシャフトをトナーセットの穴に差し込み（⬅❶）反対側のシャフトをトナーセットの溝にセットします。（⬇❷）

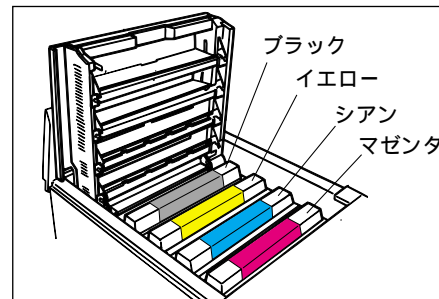
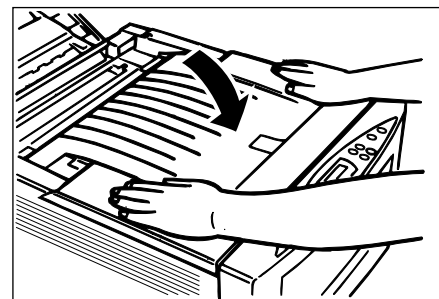
ポイント ドラムセットとトナーセットは必ず同じ色のものを組み合わせてください。

ポイント ドラムは回転させないでください。色ズレの原因になることがあります。

3 ロックレバー（紫色）を倒してドラムセットをトナーセットに固定します。

ポイント ロックレバーが倒れないときは、ドラムセットを取り付け直してください。

4 ドラム・トナーセットを持ち上げ、スタンド（紫色）を閉じます。

ポイント スタンドを閉じないでプリンタに取り付けると故障の原因になります。

ポイント ドラム・トナーセットをテーブルなどの上に置くと、スタンドが開きますので、プリンタに取り付ける前に必ずスタンドを閉めてください。

5 ドラム・トナーセットの左右の▷▷▷▷マークとプリンタ側にある▷▷▷▷マークの色と位置を合わせるようにプリンタに取り付けます。

ポイント ドラム・トナーセットを取り付ける場所は色ごとに決まっています。図の例はシアンの例ですが、プリンタの奥から手前に向かって、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタを取り付けてください。

6 ドラム・トナーセットの左右にある▷▷▷▷マークを手で押して確実にセットされていることを確認してください。

ポイント 確実にセットされていないと、色ズレや印刷カスレになることがあります。

7 ここまでの手順をくり返して、使用済みになった全ての色のドラムセットを新しいものと交換します。

8 ルーフを両手でささえながらゆっくり閉め、両手でルーフの両端を押して、「カチッ」とロックするまで確実に閉めます。

ポイント ルーフが閉まらないときは無理に閉めないで、ドラム・トナーセットが確実に取り付けられているか確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。

ポイント ルーフが確実にロックされていることを確認してください。確実にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

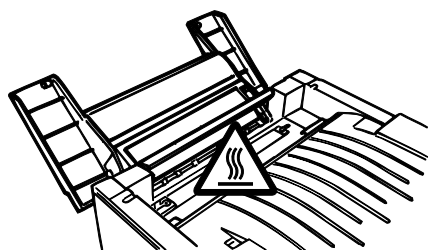
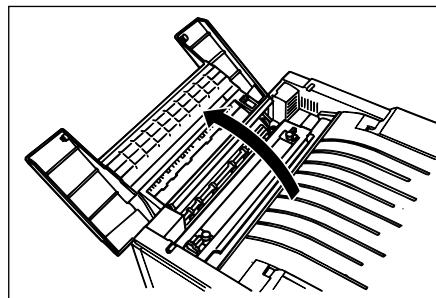
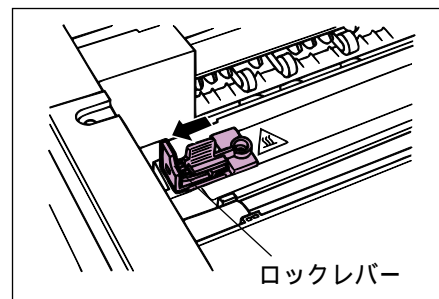
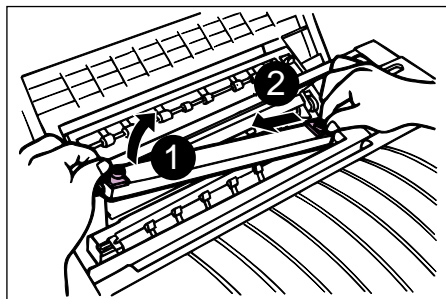
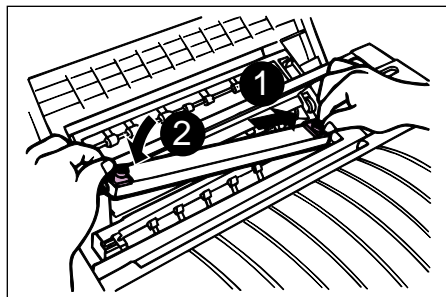
注意！ ブラックのドラムセットを交換したときは、必ず同梱の定着クリーナも交換してください。交換せずに使用すると故障の原因になることがあります。

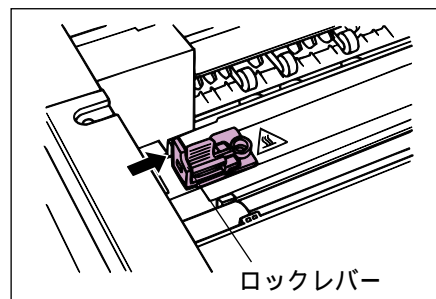
1.4 定着クリーナの交換方法（13 ページ）

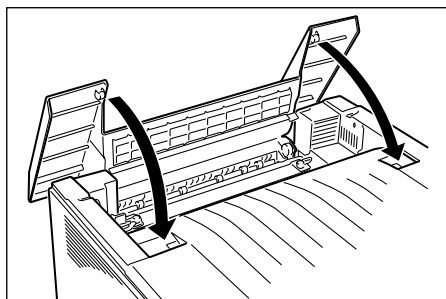
1.4 定着クリーナの交換方法

新しいブラックドラムセットには定着クリーナが同梱されています。ブラックドラムセットを交換するときは、定着クリーナも同時に交換してください。

ブラック以外のドラムセットを交換したときは、定着クリーナの交換はしませんので、 「⑥ 排紙カバーを閉めます」（15 ページ）に進んでください。

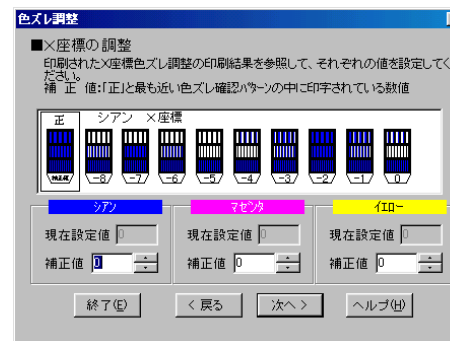
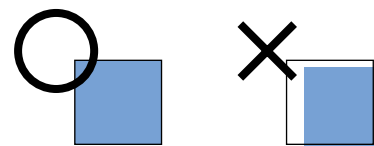
注 意

定着器は高温になりますので定着クリーナ交換の際は、以下に記載されている取っ手やロックレバー（紫色）以外には触れないでください。やけどの原因になります。

1 **排紙カバーを後方に開けます。**

2 **定着クリーナのロックレバー（紫色）を左にスライドしてロックを解除します。**

3 **古い定着クリーナの取っ手（紫色）を図のように持って左側を持ち上げながら（⬆❶）左上方向に取り外します。（⬅❷）**

4 **新しい定着クリーナの取っ手（紫色）を図のように持ち、（定着クリーナの取っ手が小さい方が右、大きい方が左です）定着クリーナの右側を定着器の溝に差し込み（➡❶）左端を定着器の溝にはめこみます。（⬇❷）**

> ポイント
> **図のように斜めに入れないと定着器の溝に入りませんのでご注意ください。**

5 **ロックレバーを右にスライドさせて定着クリーナを固定します。**

> ポイント
> **ロックレバーの▼マークと定着器の▲マークが向き合う位置に固定してください。**

6 排紙カバーを閉めます。

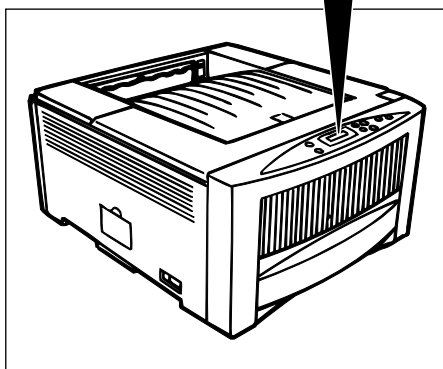
通常表示

インサツ　デキマス

7 メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示に戻ればドラムセットの交換は完了です。

＜色ズレ確認マーク＞

8 色ズレを調整します。
セルフプリント☞セットアップガイド「6.2セルフプリント（ステータスシート）の印刷」（29ページ）を行ない、色ズレ確認マークの色がズレているときは、☞ 付録9「色ズレの調整」（104ページ）を行なってください。

1.5 トナーセットの交換方法

トナー　コウカンヨコク　KYCM

取消ボタンを押す

メッセージランプが点滅し、左のようなメッセージが表示されてプリンタが停止しているときは、トナーが残り少なくなった事を示しています。新しいトナーセットをご準備ください。

トナー　コウカンジ゛キ　KYCM

約20枚

取消ボタンを押すと、メッセージランプが点灯に変わり、左のようなメッセージが表示されて印刷を再開します。

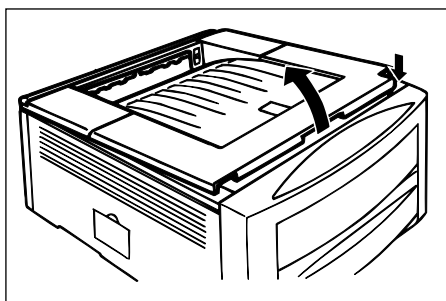
トナー　コウカン　　　KYCM

メッセージランプが点滅し、左の様なメッセージが表示されてプリンタが停止しているときはトナーセットの交換時期です。次の手順にしたがって新しいトナーセットに交換してください。(このときルーフを開けて、トナーセットの上面をかるくたたくと、もう少しプリントできることがあります)

「トナー　コウカンジキ」と表示されている間は、A4サイズの用紙に平均印字率5%で約20枚プリントできますが、平均印字率が5%より濃い画像をプリントすると、途中でトナーが無くなり、プリント画像が薄くなったりプリント画質が低下することがあります。このようなときは新しいトナーセットに交換してください。そのまま印刷し続けると、ドラムセットが劣化して交換が必要になる場合があります。

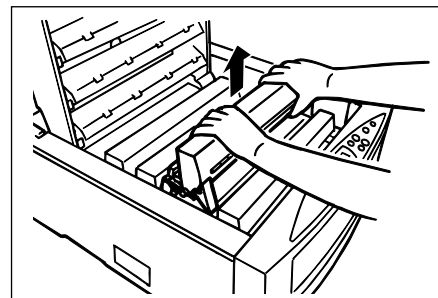
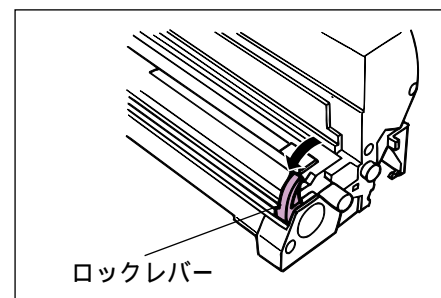
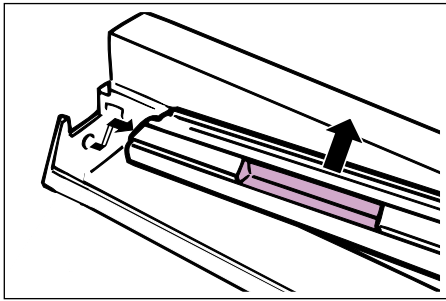
1.　古いトナーセットを取り外します

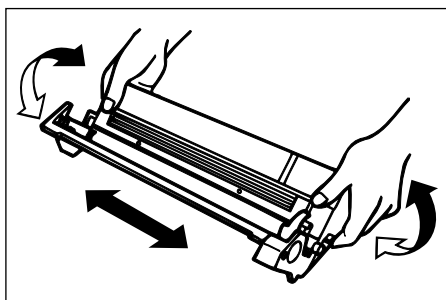
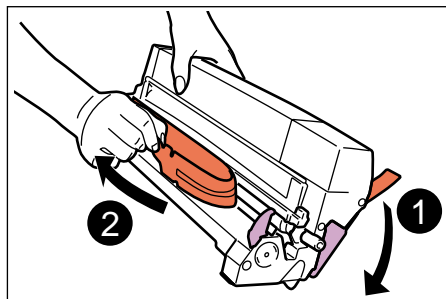
トナー　コウカン	CM

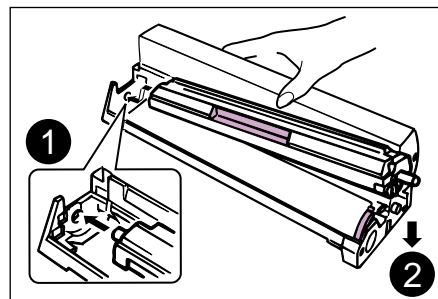
K：ブラック
Y：イエロー
C：シアン
M：マゼンタ

1 どの色のトナーセットが交換時期かを確認します。
図の例ではC（シアン）とM（マゼンタ）のトナーセットの交換が必要です。

2 ルーフ上の用紙を取り除きます。ルーフの右手前にあるルーフ解除ボタンを押してロックを解除し、ルーフを開けます。

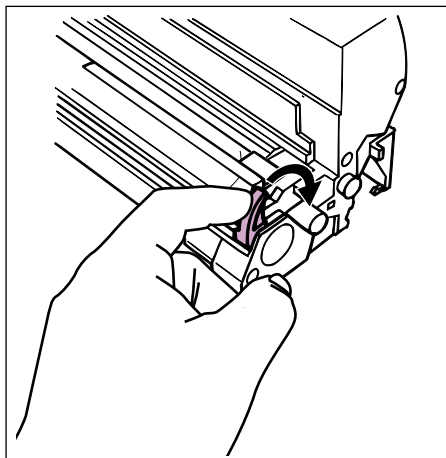
⚠ 注 意

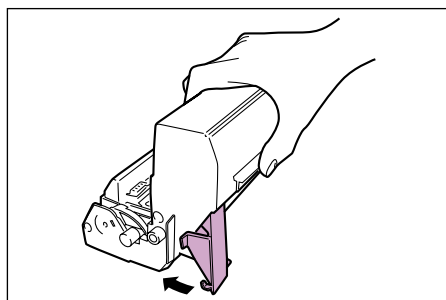
ルーフは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたルーフに手を触れると、ルーフが閉じて手などを挟まれ、けがをすることがあります。

3 使用済みのドラム・トナーセット（ドラムセットとトナーセットが組み合わさった現像ユニット）を図のように持ち、ゆっくり引き出します。

4 テーブルなどの平らな場所に紙を下に敷いてドラム・トナーセットを置き、図のようにロックレバー（紫色）を起こしてドラムセットのロックを解除します。

5 ドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、ドラムセットを古いトナーセットから取り外します。

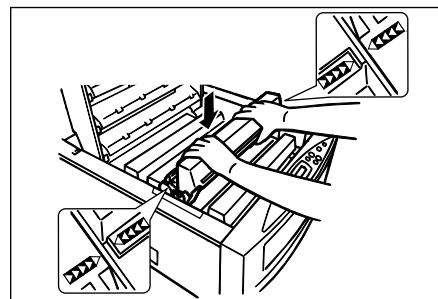
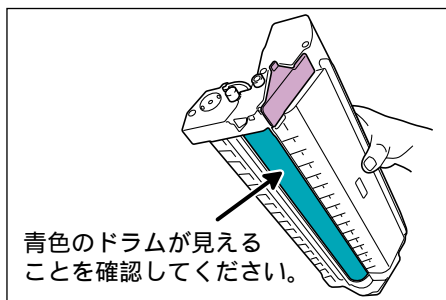
2. 新しいトナーセットを取り付けます

1 ドラムセットと同じ色の新しいトナーセットを箱から取り出し、中のトナーが片寄らないように図の向きによく振ります。

2 トナーシールテープ❶❷を剥がします。

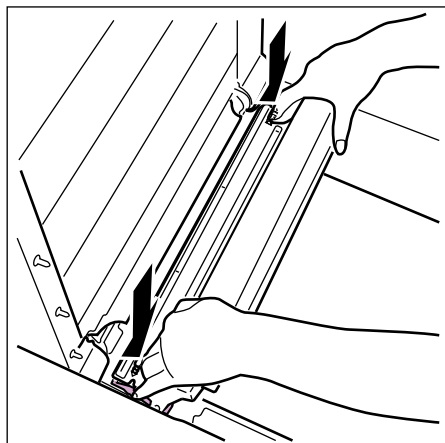
トナーシールテープを剥がすときにトナーがこぼれることがあります。下に紙などを敷いて作業してください。

3 古いトナーセットから取り外したドラムセットの取っ手（紫色の部分）を持って、ドラムセットのシャフトを新しいトナーセットの穴に差し込み（⬅❶）反対側のシャフトをトナーセットの溝にセットします。（⬇❷）

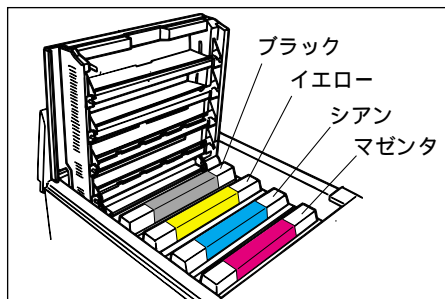
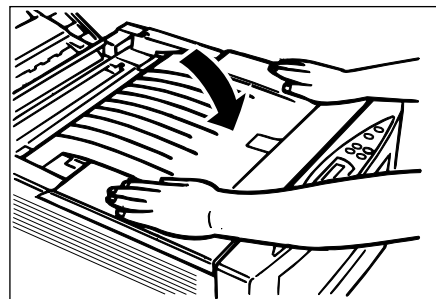
ドラムセットとトナーセットは必ず同じ色のものを組み合わせてください。

ドラムは回転させないでください。色ズレの原因になることがあります。

4 ロックレバー（紫色）を倒してドラムセットをトナーセットに固定します。

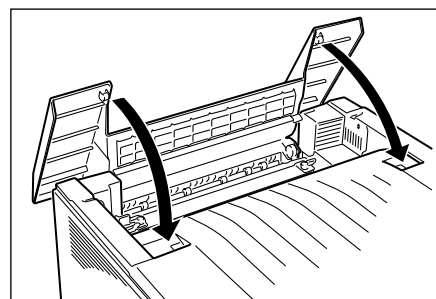
ポイント
ロックレバーが倒れないときは、ドラムセットを取り付け直してください。

5 ドラム・トナーセットを持ち上げ、スタンドを閉じます。

ポイント
ドラム・トナーセットをテーブルなどの上に置くと、スタンドが開きますので、プリンタに取り付ける前に必ずスタンドを閉めてください。

6 ドラム・トナーセット左右の▷▷▷▷マークとプリンタ側にある▷▷▷▷マークの色と位置を合わせるようにプリンタに取り付けます。

ポイント
ドラム・トナーセットを取り付ける場所は色ごとに決まっています。図の例はシアンの例ですが、プリンタの奥から手前に向かって、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタを取り付けてください。

7 ドラム・トナーセットの左右にある▷▷▷▷マークを手で押して確実にセットされていることを確認してください。

確実にセットされていないと、色ズレや印刷カスレになることがあります。

8 ここまでの手順をくり返して、使用済みになった全ての色のトナーセットを新しいものと交換します。

9 ルーフを両手でささえながらゆっくり閉め、両手でルーフの両端を押して、「カチッ」とロックするまで確実に閉めます。

ルーフが閉まらないときは無理に閉めないで、ドラム・トナーセットが確実に取り付けられているか確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。

ルーフが確実にロックされていることを確認してください。確実にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

10 排紙カバーを閉めます。

（通常表示）

インサツ　デキマス

11 **メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示に戻ればトナーセットの交換は完了です。**

2. 用紙の補給

2.1 用紙と給紙方法について

本プリンタは一般にページプリンタ用、乾式コピー機用として販売されている普通紙（上質紙と再生紙）および特殊紙（官製ハガキ、封筒、ラベル紙、OHP フィルム、厚紙、不定型紙、長尺紙）が下記の給紙方法で使用できます。

<table>
<tr><th>給紙装置</th><th></th><th>用紙の種類(紙種)</th><th>用紙サイズ</th><th colspan="2">紙厚(坪量)</th><th colspan="2">容　量</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ペーパカセット(本体、拡張ペーパフィーダ)</td><td rowspan="2">普通紙</td><td rowspan="2">上質紙／再生紙</td><td rowspan="2">A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横</td><td>N4-614</td><td>N4-614P</td><td>N4-614</td><td>N4-614P</td></tr>
<tr><td>60～90g/m^2</td><td>105～157g/m^2</td><td>250枚(64g/m^2)(高さ26mm)以内</td><td>150枚(128g/m^2)(高さ24mm)以内</td></tr>
<tr><td rowspan="7">マルチペーパフィーダ</td><td>普通紙</td><td>上質紙／再生紙</td><td>A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横</td><td>60～135g/m^2</td><td>64～157g/m^2</td><td>100枚(64g/m^2)(高さ11mm)以内</td><td>30枚(128g/m^2)(高さ6mm)以内</td></tr>
<tr><td rowspan="6">特殊紙</td><td>不定形紙</td><td>幅　90～297mm
長さ　148～432mm</td><td>60～135g/m^2</td><td>64～157g/m^2</td><td>100枚(64g/m^2)(高さ11mm)以内</td><td>30枚(128g/m^2)(高さ6mm)以内</td></tr>
<tr><td>長尺紙</td><td>幅　210～297mm
長さ　433～900mm</td><td colspan="2">105～135g/m^2</td><td colspan="2">1枚</td></tr>
<tr><td>官製ハガキ</td><td>100×148mm</td><td colspan="2">190g/m^2</td><td colspan="2">30枚（官製ハガキ）</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>長形3号(120×235mm)
長形4号(90×205mm)
洋形1号(120×176mm)</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">10枚（指定紙）</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td>A4</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">30枚（指定紙）</td></tr>
<tr><td>OHPフィルム</td><td>A4</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">50枚（指定紙）</td></tr>
</table>

☑ポイント **ページプリンタで快適な印刷を行なうためには、用紙の選定が重要です。お手持ちのコピー用紙をご使用になる前に必ず** **☞ 付録 2. 用紙について（90 ページ）をご覧ください。**

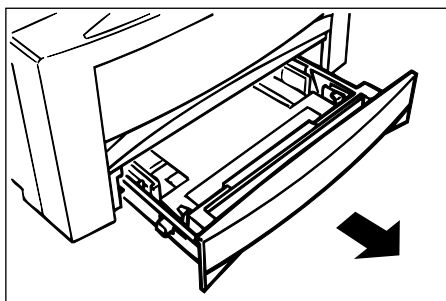
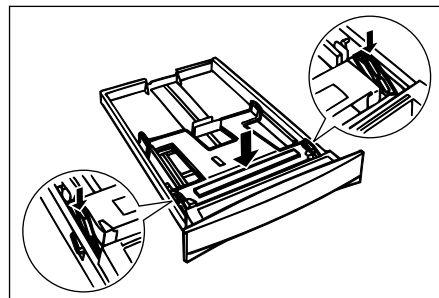
☑ポイント **上記のサイズや厚さの用紙でも紙質等により紙詰まりが多発したり、画質が低下する事があります。大量の用紙をお買い求めになるときは、事前に十分テスト印刷を行ない、このようなトラブルが発生しない事をご確認ください。**

2.2 ペーパーカセットからの給紙

```
ヨウシ　ホキュウ
              CPF1    A4
```

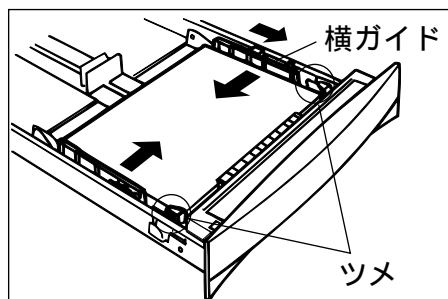
図のような表示でプリンタが停止しているときは、ペーパカセットに用紙を補給してください（図の例は本体カセットにA4 サイズの用紙を補給する事を示しています）。

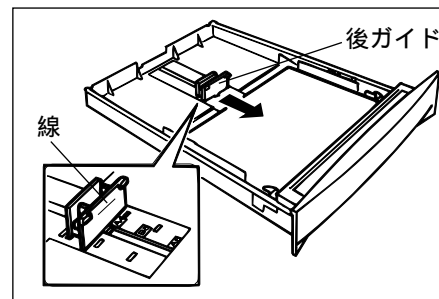
※ 以下の手順は本体カセット（1段目）に用紙を補給する手順ですが、オプションの拡張ペーパフィーダも同様です。

1. ペーパーカセットを取り出します

1 **ペーパカセットをプリンタから抜き出し、平らな場所に置きます。**

2 **ペーパカセットの底板（金属板）が上がっているときは、底板を手で押しながら、図の位置（左・右）にある黒いロックレバーを押して底板をロックします。**

ポイント **通常底板はプリンタから取り出したときに下がりますが、ロックレバーに手が触れるなどして底板が上がることがあります。底板が上がったままプリンタに取り付けると故障の原因になりますので、必ず底板を下げてからプリンタに取り付けてください。**

ポイント **N4-614P はバネが強いため、底板が上がりやすいので特にご注意ください。**

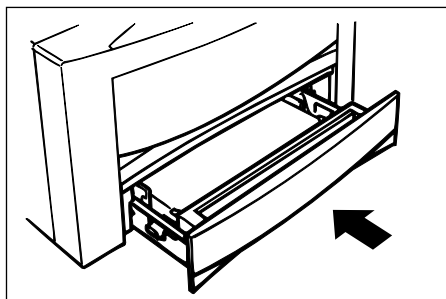
2.　用紙をセットします

1 用紙の四隅をそろえてペーパカセットにセットし、横ガイドのロックレバーをつまみながら用紙にピタリと合わせた位置に調整します。

このとき、用紙がツメの下になっていることを確認してください。

2 後ガイドの固定クリップをつまみながら用紙に軽く当たる位置に調整します。

ポイント このとき固定クリップのツメがカセットの溝に固定されていることを確認してください。

ポイント 用紙の量は後ガイドの線より下になるように、入れすぎた用紙を取り除いてください。

ポイント プリンタは後ガイドの位置でカセットにセットされた用紙サイズを検出しています。用紙サイズ誤検出の原因になりますので、後ガイドは正しい位置に固定してください。図の例は A4 横サイズの用紙をセットした場合です。

3.　ペーパーカセットを取り付けます

1　ペーパカセットをプリンタに奥までしっかり押し込みます。

通常表示

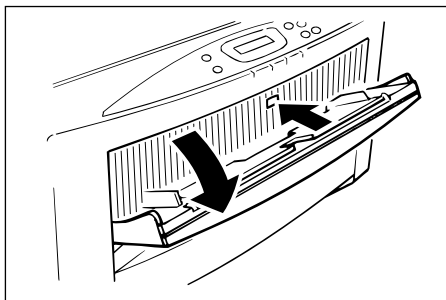
インサツ　デキマス

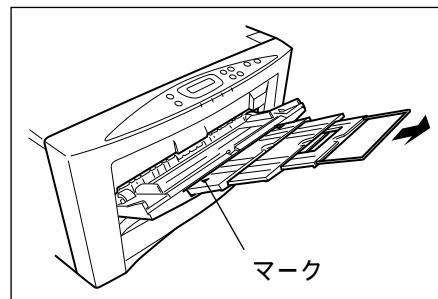
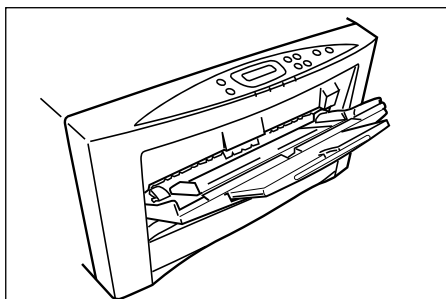
2　メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示になると準備完了です。

2.3 マルチペーパフィーダ（MPF）からの給紙

```
ヨウシ　ホキュウ
          MPF   A3
```

図のような表示でプリンタが停止しているときは、マルチペーパフィーダに用紙を補給してください（図の例はマルチペーパフィーダにA3サイズの用紙を補給する事を示しています）。

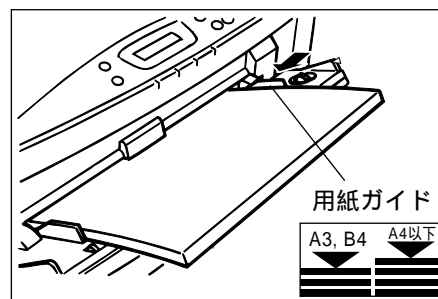
1.　マルチペーパフィーダを開けます

1 **プリンタ正面の図の部分を押してマルチペーパフィーダを開けます。**

2.　補助トレイを延ばします

1 **図のように補助トレイの全ての段が“カチッ”とロックし、1段目左右の△マークが見える位置まで引き出します。**

2 **A4サイズ（横送り）をセットするときは、一番下の段を残して、その他の段を押し込みます。**

ポイント
補助トレイに重たい物を乗せたり、無理な力を加えないでください。破損することがあります。セットできる用紙は以下の通りです。

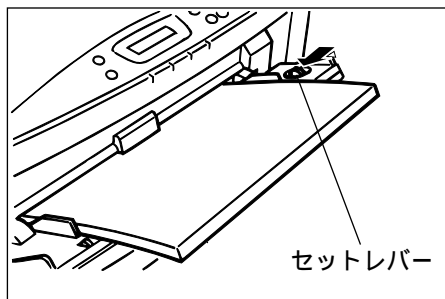
	A4 横以下	B4 縦～ A3 縦	A3 縦より大きい紙
N4-614	100 枚※1	30 枚	1 枚
N4-614P	30 枚※2	20 枚	1 枚

※1：64g/m² 用紙にて，※2：128g/m² 用紙にて

3. 用紙をセットします

1 **用紙の四隅をそろえ、プリントしたい面を上にして、差し込み口の奥に軽く突き当たるまで入れます。次に用紙ガイドを用紙にピタリと合わせた位置に調整します。**

ポイント
セットした用紙が用紙ガイドのラベルの▼マークより下になるように、入れすぎた用紙を取り除きます。

ポイント
用紙を正しくセットしないと斜め送りや紙詰まりになることがあります。

ポイント
折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。

2 セットレバーを左にスライドさせてマルチペーパフィーダのロックを解除します。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

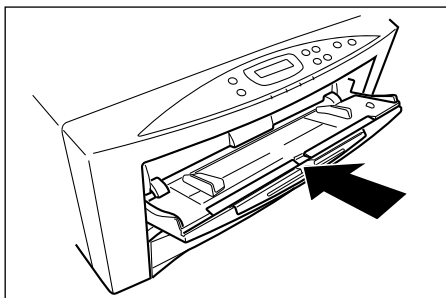
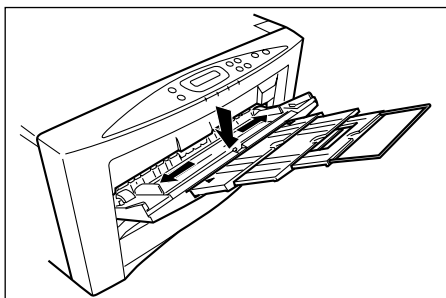
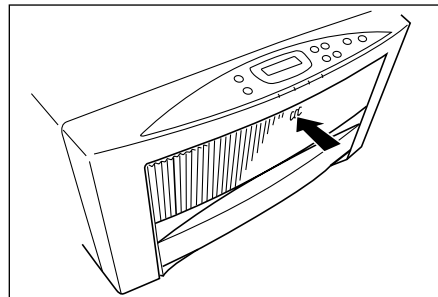
ポイント OHPフィルムやハガキ、ラベル紙、厚紙、長尺紙に印刷するときはフェイスアップ排紙で印刷してください。（39ページ参照）
フェイスダウンで印刷すると、用紙が丸まったり、途中でひっかかって紙詰まりになることがあります。特に長尺紙は、印刷されて出てきた用紙が再びマルチペーパフィーダに巻き込まれることがあります。

注意！ 他のプリンタや複写機で印刷した用紙はセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になる事があります。

ポイント プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、給紙口をMPFにし、特殊紙の場合は排紙口をアッパートレイ（フェイスアップ）にして印刷してください。用紙サイズや紙種の設定が異なると、正しく印刷されない場合があります。

ポイント OHPフィルム、ラベル紙、封筒などの、複数の紙が付着しやすい用紙は、よくさばいてからセットしてください。
そのほかにも特殊紙に印刷するときは、ご注意が必要です。2.4 特殊紙の印刷方法（31ページ）

ポイント 底板を押し下げないとマルチペーパフィーダを閉める事ができません。

マルチペーパフィーダを閉じるときは

1 マルチペーパフィーダ上の用紙を取り除き、補助トレイを押し込みます。

2 用紙ガイドをいちばん外側まで開き、底板を押し下げてロックします。

3 マルチペーパフィーダを閉じて“カチッ”とロックします。

ポイント OHP フィルム、ラベル紙、封筒などの、複数の紙が付着しやすい用紙は、よくさばいてからセットしてください。
そのほかにも特殊紙に印刷するときは、ご注意が必要です。☞ 2.4 特殊紙の印刷方法（31 ページ）

ポイント 底板を押し下げないとマルチペーパフィーダを閉める事ができません。

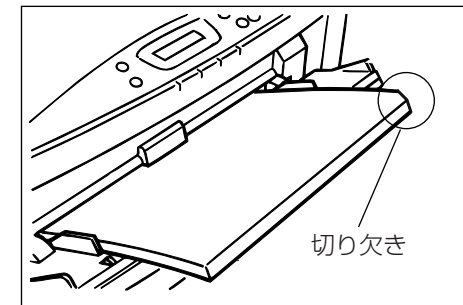
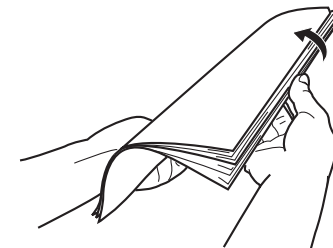
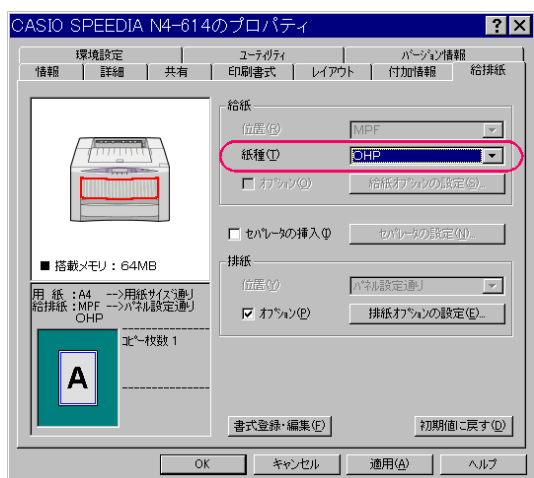
2.4 特殊紙の印刷方法

特殊紙に印刷するときは、マルチペーパフィーダから☞(27ページ)フェイスアップ排紙（アッパー排紙部）☞(39ページ)で印刷してください。

ポイント **特殊紙の印刷品質は普通紙より悪くなる事があります。紙詰まりや白抜けも発生しやすくなります。本プリンタに適さない特殊紙も多くありますので、弊社推奨紙のご使用をおすすめします。****☞ 付録2. 用紙について（90ページ）**

ポイント **用紙を大量に購入するときは、必ず事前に印刷テストを行ない、本プリンタに使用できるかご確認ください。**

OHP フィルム

- カシオ製のOHPフィルム（N-OHPS）をご使用ください。その他の OHP フィルムを使用すると、定着器に巻き付くなど故障の原因になります。
- OHP フィルムはマルチペーパフィーダから印刷できますが、その他の給紙装置からは印刷できません。
- OHP フィルムには裏／表がありますので、角が欠けている部分を図の向きにセットして表面に印刷してください。

- OHPフィルムは図のように数回さばき、OHPの貼り付きを完全になくしてからセットしてください。

● OHP フィルムに印刷するときは「紙種」を「OHP」モードに設定してください。（OHP モードの印刷速度は３枚／分（カラー）になります）

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

ラベル紙

● ラベル紙はカールしていない物をご使用ください。紙詰まりの原因になります。

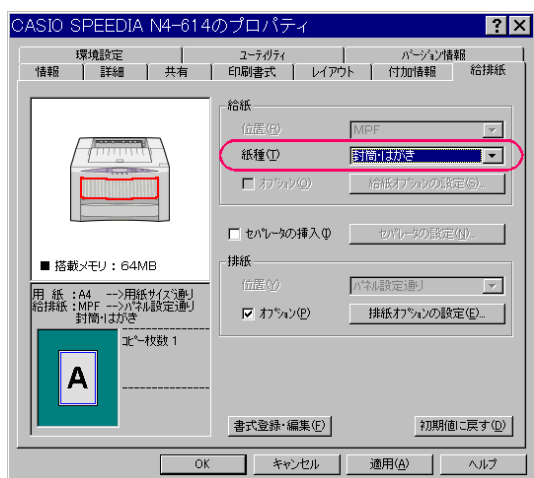
● ラベル紙も OHP フィルムと同様にさばいてからセットしてください。

厚紙

● 105g/m²（90kg）以上の厚紙に印刷するときは「紙種」を「厚紙」モードに設定してください。「普通紙」モードのまま印刷すると、白地の部分が汚れる事があります。

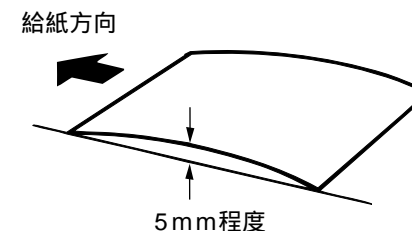
「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

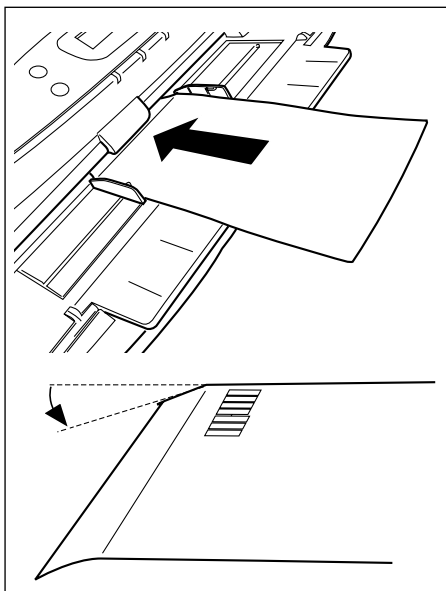
官製ハガキ

● 官製ハガキに印刷するときは「紙種」を「封筒・はがき」モードに設定してください。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

● 往復ハガキは中央に折り目が入っていない物をご使用ください。
● 往復ハガキに印刷するときは、アプリケーションソフトで、200×148mmを指定し、プリンタドライバ側の用紙サイズで「往復はがき(200×148mm)」を指定してください。また、プリンタには往復ハガキを横送りにセットしてください。但し、アプリケーションソフトによっては、プリンタドライバ側で往復はがきの用紙(148×200mm)を作成する必要があります。
● 官製ハガキに印刷する前に同じサイズの用紙で試し印刷して、印刷位置などを確認してください。

印刷できるのは普通紙の官製はがきです。印刷できないはがきは以下のとおりです。
- **私製はがき**
- **絵はがきなどの厚いはがき**
- **年賀状やかもめーるなどの再生紙のはがき**
- **絵入りはがきなど裏映り防止用の粉がついているはがき**
- **インクジェットプリンタ専用のはがき**
- **一度印刷したはがき**
- **表面加工されたはがき**
- **表面に凹凸があるはがき**

※ はがきがマルチペーパフィーダから送り込まれずに、紙詰まりになるときは、給紙ロールを清掃してください。
☞（81ページ）
※ はがきや厚紙がプリンタの中に止まって紙詰まりになるときは、図のように少しカールさせて給紙してください。

封筒

● 封筒に印刷するときは、開封した状態で表面（宛名を印刷する面）を上にして、図のようにセットします。
裏面に印刷するとシワや紙詰まりになる事があります。

● 封筒に印刷するときは「紙種」を「封筒・はがき」モードに設定してください。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

注意！ **以下のような封筒は使用しないでください。紙詰まりや故障の原因になります。**

- **開封口にのりが付いている封筒**
- **窓付き、留め金付き、ファスナー付きなどの封筒**
- **箔押し、エンボスなどの表面加工された封筒**
- **大きく反った封筒**
- **二重（内張りがある）封筒**

長尺紙

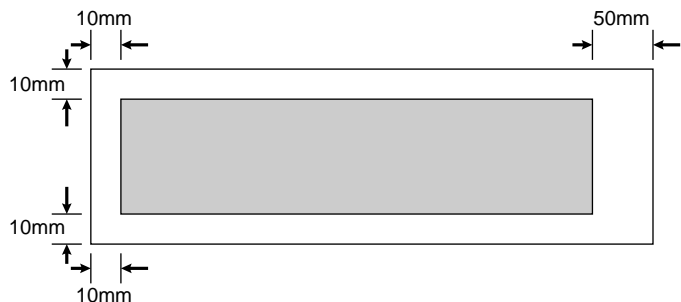
● 使用できる長尺紙は最大 297 × 900mm で、厚さ 105 ～ 135g/m² です。

● 裁断が直角でなかったり、裁断面にバリがある用紙は使用できません。

● アプリケーションソフトが、ご使用になる長尺紙の用紙サイズ（任意の用紙サイズ）を設定できない場合は、長尺紙の印刷はできません。また、アプリケーションソフトによっては任意の用紙サイズが設定できても正しく印刷できない場合があります。

● 長尺紙の印刷は大量のデータを処理するため、プリンタの標準メモリ（64MB）では不足になり、印刷が極端に遅くなったり、印刷できない場合があります。
プリンタドライバの画面プレビュー優先 ☞プリンタドライバマニュアル（16 ページ）に設定すると改善される場合があります。前記設定の変更でも改善されない場合は、メモリを追加すると改善される場合があります。

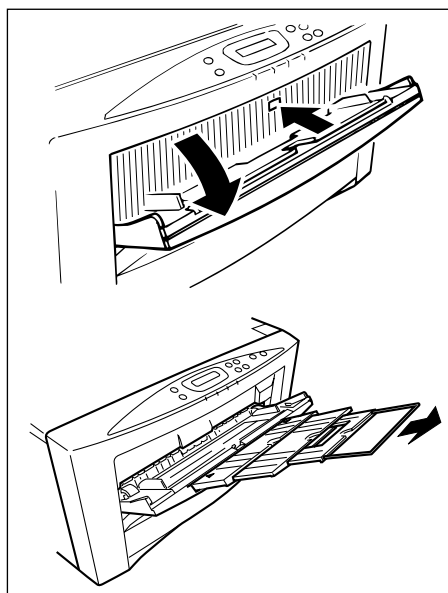
● 長尺紙は用紙ズレが発生しやすいため、用紙端からの余白を十分（先端と左右を10mm以上、後端を50mm以上）とって印刷してください。

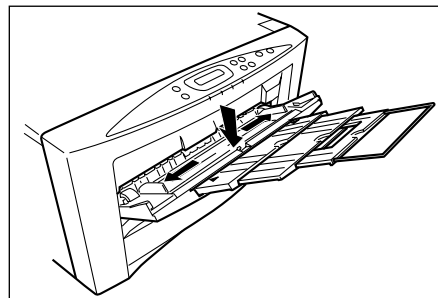
10mm 50mm
10mm
10mm
10mm

● 印字率が高い（ベタ部分が多い）画像を印刷するとトナーの供給が追いつかず、途中から印刷がかすれる事があります。このようなときはベタ部分を網かけにしたり、色をうすくして印字率を低くして印刷してください。

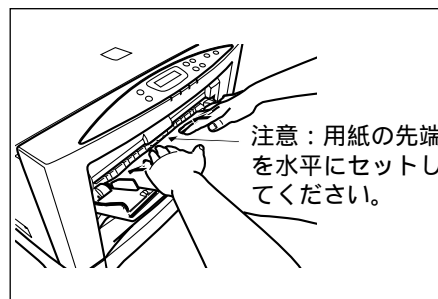
● 長尺紙の紙質や状態によって印刷画像の後端部分が擦れたように汚れる事があります。このようなときは、用紙を厚手の物に交換するか、もしくは後端の余白を広く（50mm以上）とって印刷してください。

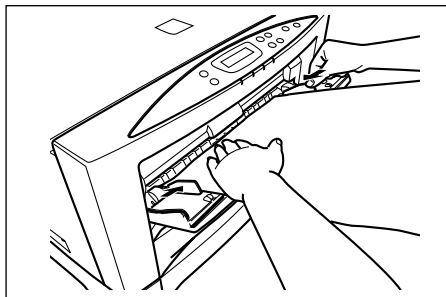
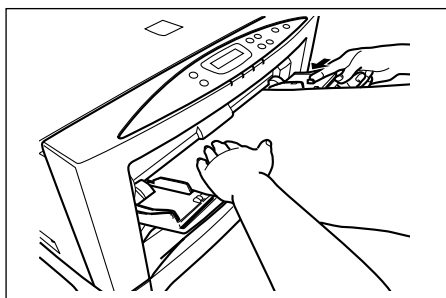
トナーが少ない状態で印字率が高い画像を印刷すると印刷がかすれる事があります。そのまま印刷を続けるとドラムが劣化し、ドラムセットを交換しないと画質が回復しなくなる事があります。印字率が高い画像を連続して印刷するときは、新しいトナーセットに交換して印刷する事をおすすめします。

長尺紙の印刷手順

最初はわずかな斜め送りでも、用紙の後半になるほど大きくずれて、紙詰まりになる事があります。まっすぐに印刷する事に気をつけて以下の手順で印刷してください。

1 **マルチペーパフィーダを開き、補助トレイが“カチッ”とロックするまで引き出します。**

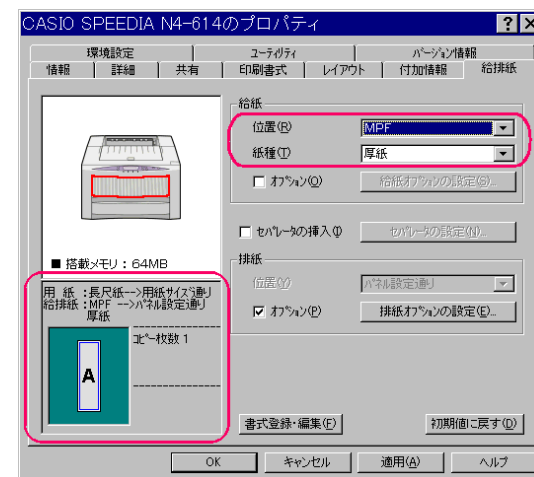
補助トレイの全ての段が、“カチッ”とロックしていることを確認してください。

2 **用紙ガイドをいちばん外側まで開き、底板を押し下げてロックします。**

※ マルチペーパフィーダを開けた直後は底板が下がっています。2枚目以降を印刷するときは底板が上がっていますので、押し下げてから用紙をセットしてください。

3 **長尺紙１枚を印刷する面を上にして、用紙の先端がマルチペーパフィーダの奥の壁に対して水平になるように軽く付き当てます。**

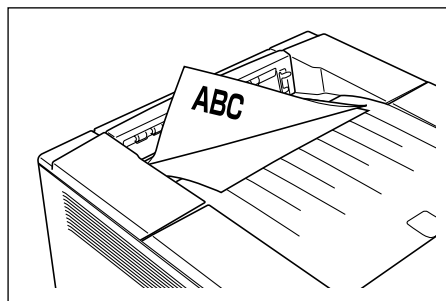
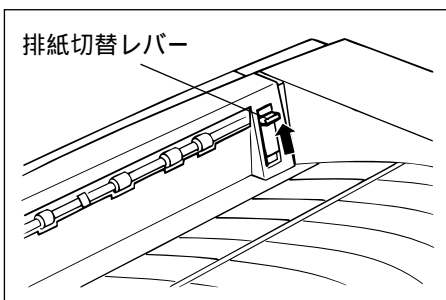
※ 用紙の先端がマルチペーパフィーダの奥の壁に対して斜めになっていないことを確認してください。

4 左右の用紙ガイドが長尺紙に軽く当たる位置に調整します。

5 セットレバーを左にスライドさせてマルチペーパフィーダのロックを解除して長尺紙を固定します。

6 プリントの準備が完了しました。

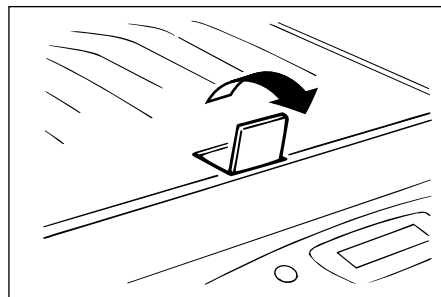
ポイント 複数枚印刷するときは、手順 2 ～ 5 を繰り返して、1 枚ずつ印刷してください。複数枚の長尺紙をまとめてセットする事はできません。

ポイント プリンタドライバで、セットした用紙サイズと紙種を設定し、給紙口を MPF にして印刷してください。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「給排紙」タブ画面

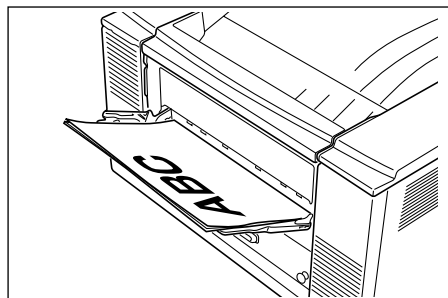
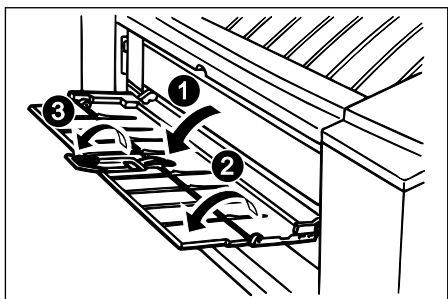
3. 排紙口の切り替え

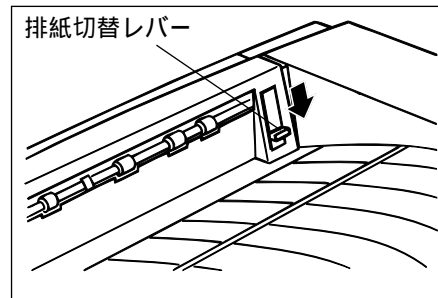
3.1 フェイスダウン排紙（メイン排紙部）

印刷された面を下向きにして、プリンタの上に排紙されます。
普通紙を使用する通常の印刷はこの方法で印刷してください。

1 **排紙切替レバーを上げてフェイスダウン排紙にします。**

> ☑ポイント **プリンタ背面のフェイスアップトレイが開いているときは閉めてください。**

> ☑ポイント **特にOHPフィルムをフェイスダウンで印刷しないでください。**
> **カールによりOHPフィルムが浮き上がり、投影できなくなる事があります。**

2 **A3 サイズの用紙に印刷するときは、図の用紙ストッパーを起こして用紙が落ちないようにします。**

> ☑ポイント **ルーフを開けるときにここを持たないでください。外れることがあります。**
>
> ☑ポイント **印刷した用紙のカールが気になるときは、フェイスアップ排紙で印刷すると改善する事があります。**

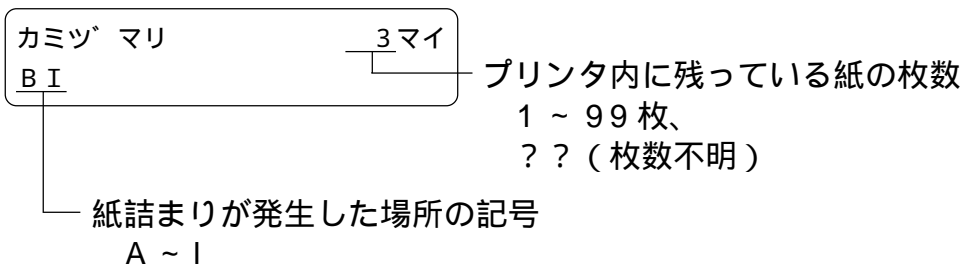
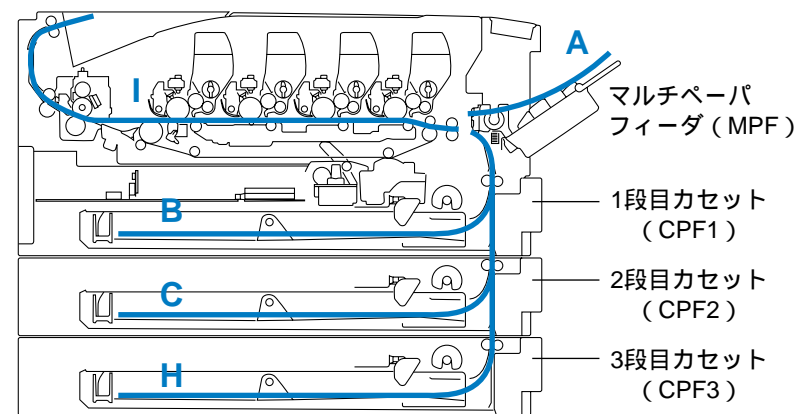
3.2 フェイスアップ排紙（アッパー排紙部）

印刷された面を上向きにして、プリンタ左側面から排紙されます。
厚紙、ハガキ、ラベル紙、OHP フィルム、封筒などの特殊紙を使用するときはこの方法で印刷してください。

1 **プリンタ背面のフェイスアップトレイを開けます。**

> **ポイント** A 4 横送りより長いサイズの用紙をフェイスアップで排紙するときは、用紙が落ちないように手で支えるか、1 枚づつ取り除いてください。

2 **排紙切替レバーを下げてフェイスアップ排紙にします。**

4. 紙詰まりの処置

4.1 紙詰まりの場所と枚数

表示パネルに紙詰まりが発生した場所と、プリンタ内に残っている紙の枚数を次のように表示します。

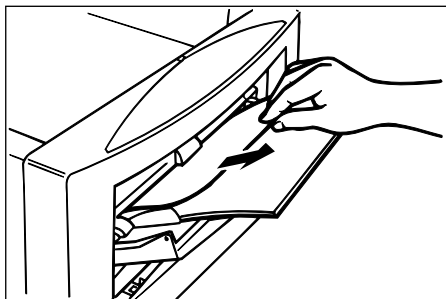
（表示例）

場所記号	紙詰まりが発生した場所
A	マルチペーパフィーダ給紙部
B	1段目カセット給紙部（本体）
C	2段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）
H	3段目カセット給紙部（拡張ペーパフィーダ）
I	プリンタ本体内部

用紙が詰まった場所（A～I）と枚数を確認し、以降の方法で全ての用紙を取り除いてください。

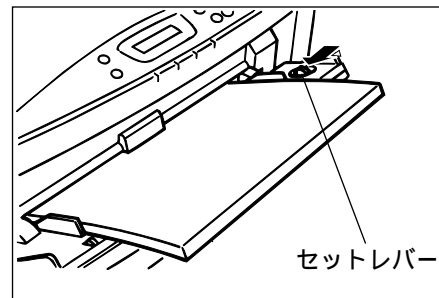
冒頭の表示例では、1段目カセット→搬送部→排紙部の間に3枚の紙が詰まっている事を示しています。

プリンタ内に詰まっている全ての用紙を取り除いてからフロントカバーを閉めてください。場所によってはプリンタ内部に用紙を巻き込んで取れなくなる恐れがあります。用紙が取り除けなくなってしまったときは、プリンタの電源スイッチを切り、お近くのカシオテクノ・サービスステーション ☞（86ページ）**にご連絡ください。**

4.2 マルチペーパフィーダの紙詰まり(カミヅマリA)

(表示例)

カミヅ゛ マリ	1マイ
A	

1 **マルチペーパフィーダに詰まっている用紙を取り除きます。**

用紙が奥まで入って取りにくいときはプリンタ内部から取り除いてください。
☞ 4.4 プリンタ本体内部の紙詰まり(43 ページ)

2 **残りの用紙をセットし直します。**
☞ 2.3 マルチペーパフィーダ(MPF)からの給紙(27ページ)

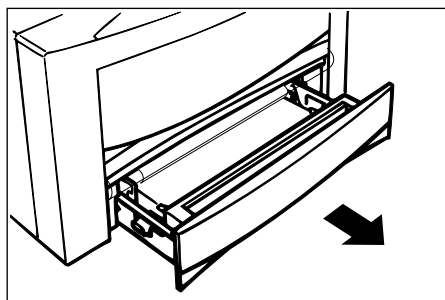
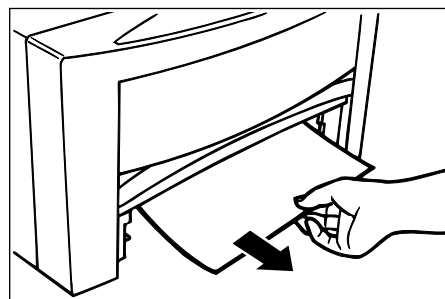
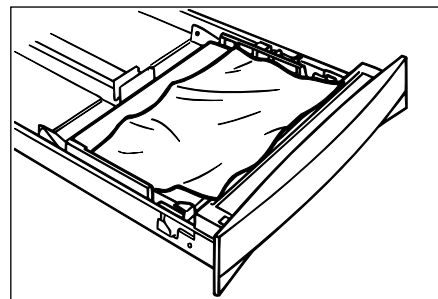
紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、ルーフまたは排紙カバーを開閉すると解除します。

詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

4.3 カセット内の紙詰まり（カミヅマリB, C, H）

（表示例）

カミヅ゛マリ	1マイ
B	

ペーパカセット内に詰まっている用紙を取り除きます。
図の表示例（カミヅマリ B）は本体標準のカセット内に用紙が詰まっている事を示しています。オプションの拡張ペーパフィーダご使用のとき（上段から順にカミヅマリ C、H）も同様にカセット内に詰まった紙を取り除いてください。

1 ペーパカセットを引き出します。

2 ペーパカセット挿入口に詰まっている用紙を取り除きます。

3 ペーパカセット内にシワになっている用紙があれば取り除きます。残りの用紙が、ツメの下に正しくセットされていることを確認してから、ペーパカセットをプリンタに戻します。（用紙のセット方法は ☞「2.2　ペーパカセットからの給紙」（24 ページ）**を参照してください。）**

ポイント **紙詰まりのエラーは、詰まった用紙を取り除いた後、ルーフまたは排紙カバーを開閉すると解除します。**

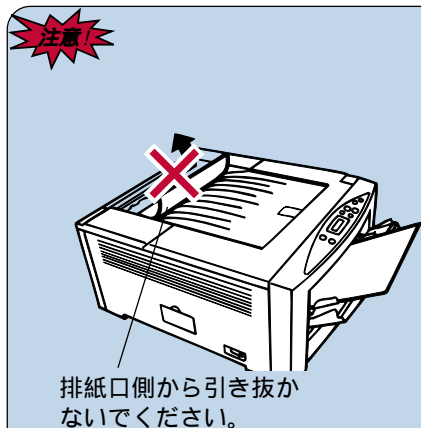
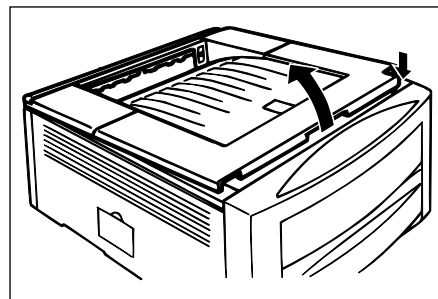
詰まった用紙が見つからないときは、次へ進んでください。

4.4 プリンタ本体内部の紙詰まり(カミヅマリI)

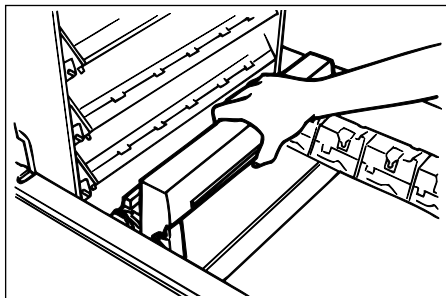
(表示例)

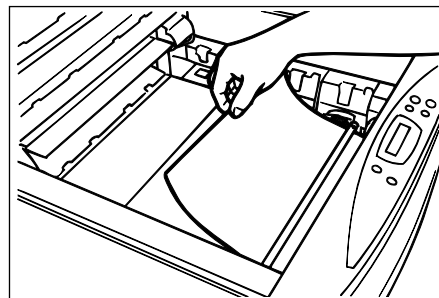
```
カミヅ゛マリ                    3マイ
エ
```

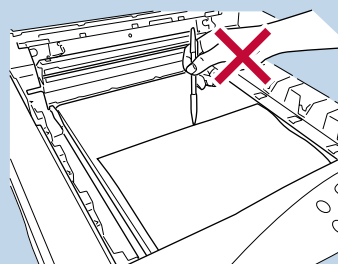
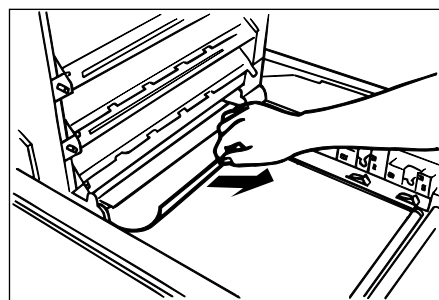
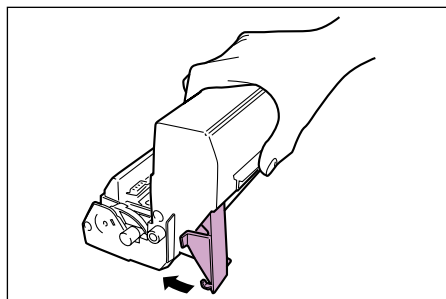
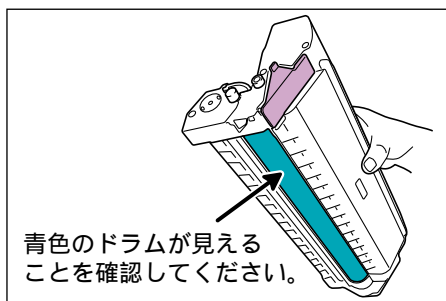
プリンタ本体の用紙搬送部から定着部に詰まっている用紙を取り除きます。

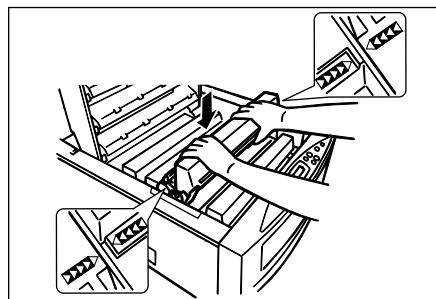
排紙口側から引き抜かないでください。

排紙口に途中まで印刷して止まっている用紙は、無理に引き抜かないでください。定着ユニットに挟まっていると思われるときは、以下の手順に従ってプリンタの内側から取り除いてください。排紙口側から引き抜くと、印刷再開後の用紙の表面や裏面に汚れが付着することがあります。

1 **ルーフ上の印刷済み用紙を取り除き、ルーフ解除ボタンを押してロックを解除し、ルーフを開けます。**

注 意

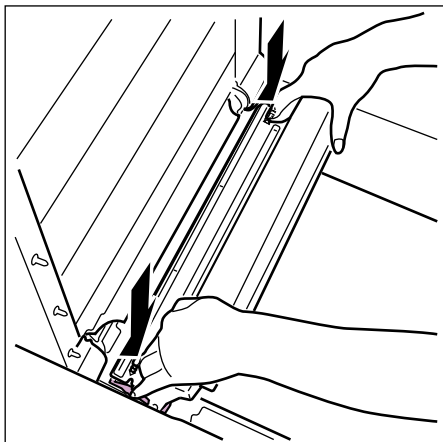
ルーフは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたルーフに手を触れると、ルーフが閉じて手などを挟まれ、けがをすることがあります。

2 全てのドラム・トナーセットをプリンタから取り外します。

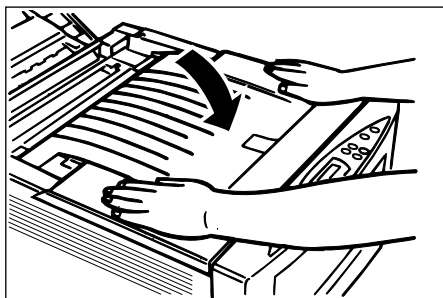
ポイント トナーでテーブルなどを汚さないよう、取り外したドラム・トナーセットを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
また、取り外したドラム・トナーセットは布などをかけ、直接光が当たらないようにしてください。

3 詰まっている用紙の先端をつまみ、用紙を引き抜きます。

ポイント 詰まっている用紙の印刷は定着されていませんので、触れるとトナーで手が汚れます。印刷面に触れないようご注意ください。

ポイント 用紙が転写ベルトに静電気で吸着していますが、ピンセットなどの先のとがったものを使用しないでください。転写ベルトにキズが付くと画像不良やベルト切れの原因になります。

4 用紙の先端が定着器に入っているときは、用紙の後端をつまんで引き抜きます。

5 ドラム・トナーセットのスタンド（紫色）を閉じます。

ポイント スタンドを閉じないでプリンタに取り付けると故障の原因になります。

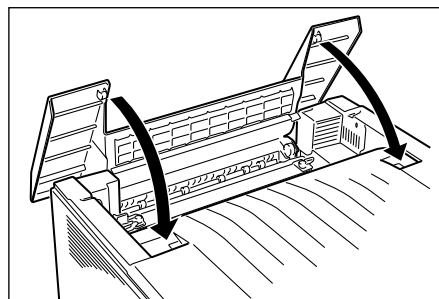
ポイント ドラム・トナーセットをテーブルなどの上に置くと、スタンドが開きますので、プリンタに取り付ける前に必ずスタンドを閉めてください。

6 ドラム・トナーセットの左右の▷▷▷▷マークとプリンタ側にある▷▷▷▷マークの色と位置を合わせるようにプリンタに取り付けます。

手順 5 ～ 6 をくり返して、取り外した全てのドラム・トナーセットをプリンタに取り付けます。

ポイント ドラム・トナーセットを取り付ける場所は色ごとに決まっています。図の例はシアンの例ですが、プリンタの奥から手前に向かって、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタを取り付けてください。

7 ドラムトナーセットの左右にある▷▷▷▷マークを手で押して、確実にセットされていることを確認してください。

ポイント 確実にセットされていないと、色ズレや印刷カスレになることがあります。

8 ルーフを両手でささえながらゆっくり閉め、両手でルーフの両端を押して「カチッ」とロックするまで確実に閉めます。

ポイント ルーフが閉まらないときは無理に閉めないで、ドラム・トナーセットが確実に取り付けられているか確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。

ポイント ルーフの両端が確実にロックされていることを確認してください。確実にロックされていないと印刷不良が発生することがあります。

9 排紙カバーを閉めます。

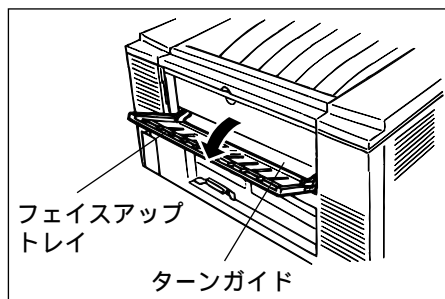
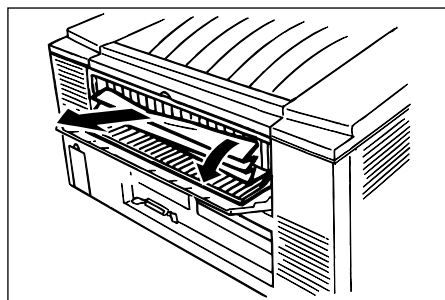
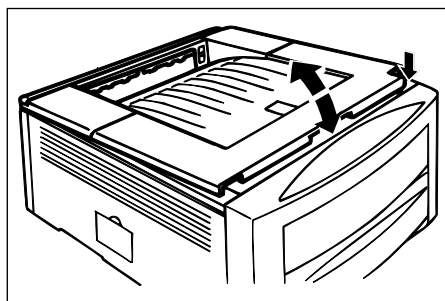
通常表示（例）

インサツ　デキマス

10 メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示になれば紙詰まりの処理は完了です。

ウォームアップ終了後に、紙詰まりのため印刷されなかったページ以降が、自動的に印刷を再開します。

4.5 ターンガイド部の紙詰まり

手順１～９の作業をしても「カミヅマリ」表示が消えないときは以下の手順でターンガイド部の用紙を取り除きます。

1 **プリンタ背面のフェイスアップトレイとターンガイドを開けます。**

2 **ターンガイドの内側に詰まっている用紙があれば取り除き、ターンガイドとフェイスアップトレイを閉めます。**

3 **ルーフ解除ボタンを押して、ルーフを一度開・閉します。**

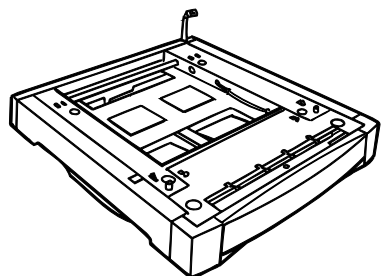
通常表示（例）

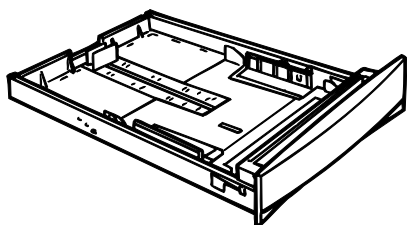
```
インサツ　デキマス
```

4 **メッセージランプが消灯し、表示パネルのメッセージが通常表示になれば紙詰まりの処理は完了です。**
ウォームアップ終了後に、紙詰まりのため印刷されなかったページ以降が、自動的に印刷を再開します。

> ポイント
> **詰まった用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、プリンタ内にまだ用紙が残っている可能性があります。再度、「4.2」項から確認し、どうしても見つからない場合は、お近くのカシオテクノ・サービスステーション** **（86 ページ）****にご連絡ください。**

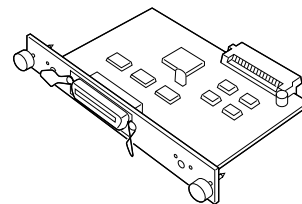
5. オプションについて

5.1 オプションの紹介

●拡張ペーパフィーダ--------N4-CPF612（N4-614 用）
N4-CPF612P（N4-614P用）

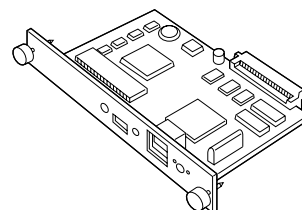
プリンタの下に取り付ける事により、プリンタ本体のカセット給紙も含み､最大3段までカセット給紙ができるようになります。ペーパカセット付きです。

●ペーパカセット --------------N4-PCA3U（N4-614 用）
N4-PCA3U-P（N4-614P用）

A3 縦、B4 横、A4 横、B5 横、A5横、レター横いずれかのサイズの普通紙がセットできるユニバーサルカセットです。

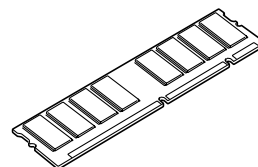
☞ 5.2 拡張ペーパフィーダの取り付け（50 ページ）

●拡張パラレル IF ボート --- CP-PIO7

プリンタに取り付ける事により、パラレルインターフェイス（IEEE1284規格双方向パラレル）をもう１つ追加できます。

☞ 5.3 インターフェイスボードの取り付け（54ページ）

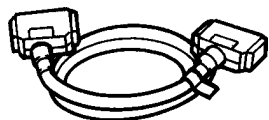
● LANI/F ボート-------------- CP-NW100SP

プリンタに取り付ける事により、イーサネットに接続して、LAN のプリンタとして共用できるようになります。
対応プロトコル:TCP/IP, IPX/SPX, HTTPD

☞ 5.3 インターフェイスボードの取り付け（54ページ）

●増設メモリモジュール

プリンタのシステムメモリを拡張できます。
64M バイト..........CP-SDR64M
128M バイト.......CP-SDR128M

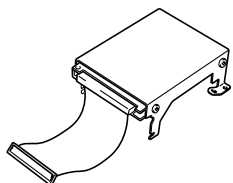
※ 市販の DIMM は使用できません。必ずプリンタ専用の DIMM をご使用ください。

☞ 5.4 増設メモリモジュールの取り付け（55 ページ）

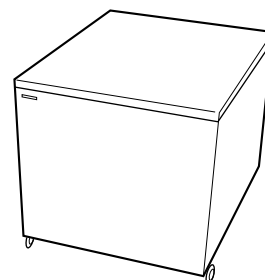
●プリンタケーブル

パソコンとプリンタを接続するケーブルです。パソコンごとに各種プリンタケーブルがあります。詳しくはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

※ 本プリンタはECP（Extended Capabilities Port）モードをサポートしていますが、ECPで使用するときはカシオCP-CA554（DOS/V機用）プリンタケーブルをご使用ください。また、パソコン側にもECPモードをサポートしている必要があります。

※ 各社パソコンの純正プリンタケーブルをご使用になるときは、必ずケーブルとコネクタがシールドされているものをご使用ください。シールドされていないものをご使用すると電波障害の原因になる事があります。

●ハードディスクユニット---- CP-HDD

印刷データをいったんハードディスクに登録する事により、部単位のコピー印刷をプリンタ側で行なえるようになります。大量の部単位コピー印刷でも、パソコン側の負担になりません。

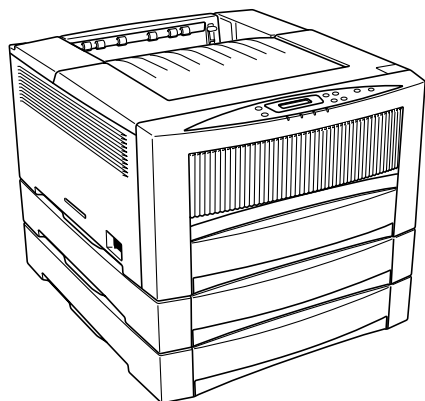
☞ 5.5 ハードディスクユニットの取り付け（58ページ）

● N4専用デスク -------------- N4-DESK

N4シリーズページプリンタを設置するための専用台です。

⚠ 注 意

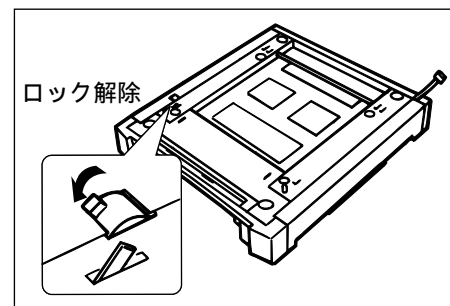
N4専用デスクをご使用になるときは、必ずキャスター止めをしてください。
動いたり、倒れたりして、けがの原因になる事があります。

N4専用デスクにプリンタを乗せたまま移動する際は、通路に段差がない場所を移動してください。段差でプリンタが転倒し、けがの原因になる事があります。

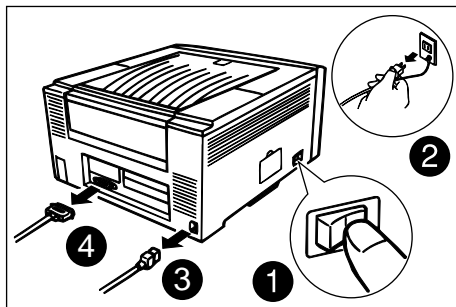
5.2 拡張ペーパフィーダの取り付け

プリンタの下に取り付ける事により、プリンタ本体のカセット給紙も含み、最大3段までカセット給紙ができるようになります。A3 ユニバーサルカセット付きです。

注 意

プリンタを持ち上げるときは、必ず4人以上で所定の位置を持ってください。詳しくは☞ 付録3. プリンタを運ぶとき（96ページ）を参照してください。

1. 取り付けの準備をします

1 拡張ペーパフィーダを梱包箱から取り出し、設置する場所に置き、ペーパカセットを取り外します。
このとき、拡張ペーパフィーダのロックレバーがロック解除側になっていることを確認してください。

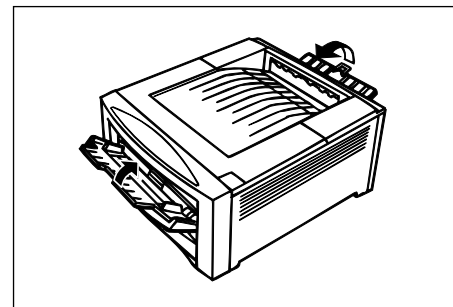
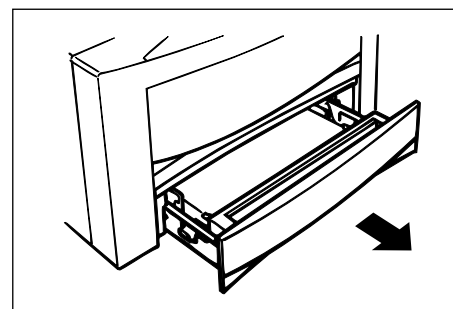
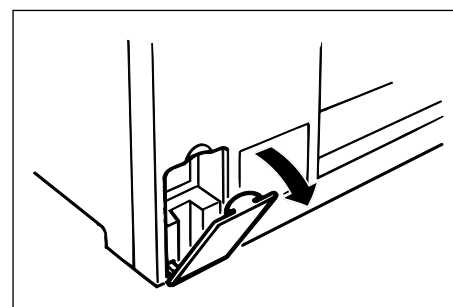
ポイント 拡張ペーパフィーダの前後の向きに注意して、図のように置いてください。また、前後に取り付け作業ができるくらいのスペースを確保してください。

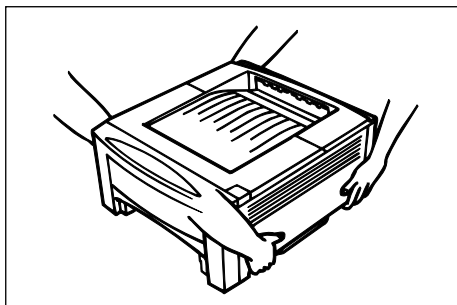
ポイント 拡張ペーパフィーダの内部の部品に手を触れないでください。

2 プリンタの電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜きます。次にプリンタから電源コードとプリンタケーブルを取り外します。

電源スイッチがONの状態でオプションの拡張ペーパフィーダを取り付けると、故障の原因になります。

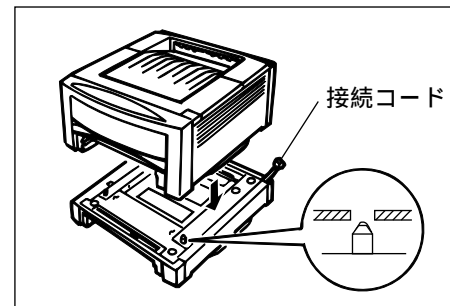
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っぱらないでください。電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

3 マルチペーパフィーダやフェイスアップトレイ上の用紙を取り除いて閉じます。

4 プリンタ本体のペーパカセットを取り外します。

5 プリンタ背面のコネクタカバーを外します。

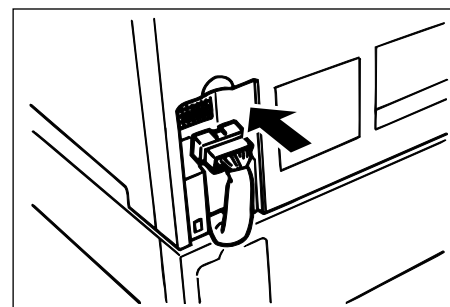
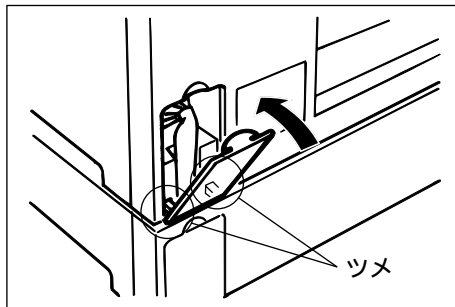
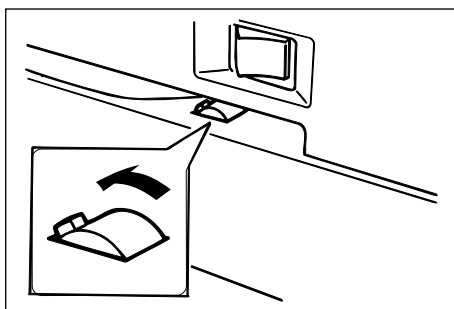
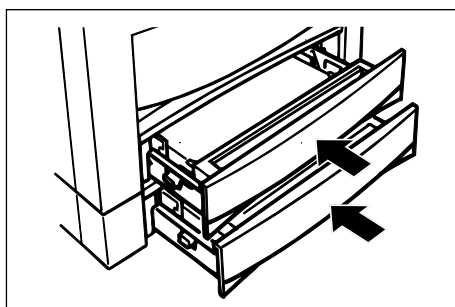
2. 拡張ペーパフィーダを取り付けます

1 図のようにプリンタの取っ手をしっかりと持って、プリンタを持ち上げます。

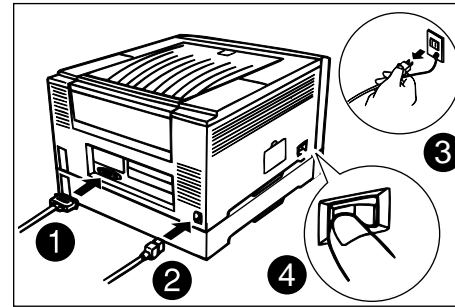
⚠ 注 意

プリンタを持ち上げるときは必ず2人以上で持ち上げてください。図のように製品の取っ手をしっかりと持って、静かに持ち上げます。腰を傷めたり、製品を落としてけがをしないよう十分ご注意ください。製品重量は、消耗品やオプション無しでも約43kgあります。

2 プリンタと拡張ペーパフィーダの四隅を合わせ、拡張ペーパフィーダの接続ピンがプリンタのピン挿入部に入るように、プリンタを静かに降ろします。

ポイント
拡張ペーパフィーダの接続コードを挟まないようご注意ください。

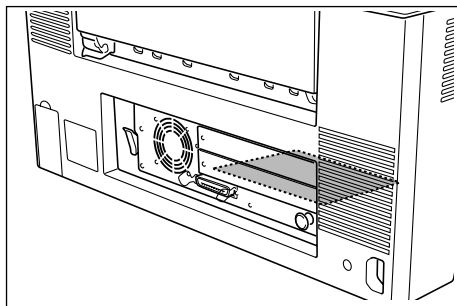
⚠ 注 意

指を挟んでけがをしないようご注意ください。

3 拡張ペーパフィーダの接続コードをプリンタに差し込みます。

4 コネクタカバーのツメ（2ケ所）をひっかけてコネクタカバーを閉めます。

5 拡張ペーパフィーダのロックレバーを図の向きに倒してプリンタに固定します。

6 ペーパカセットに用紙を入れ、拡張ペーパフィーダと本体にセットします。

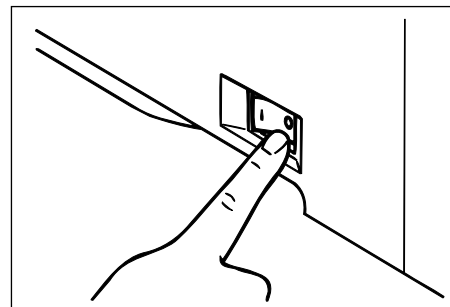
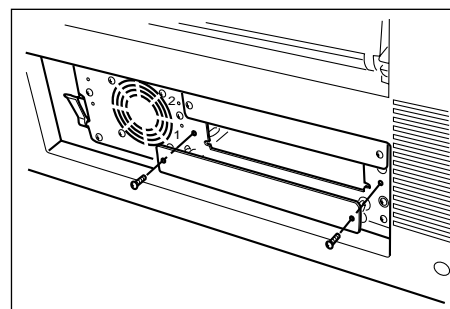
ポイント
詳しくは☞「2.2 ペーパカセットからの給紙」（24 ページ）を参照してください。

7 プリンタケーブルと電源コードを取り付け、電源スイッチを ON にします。

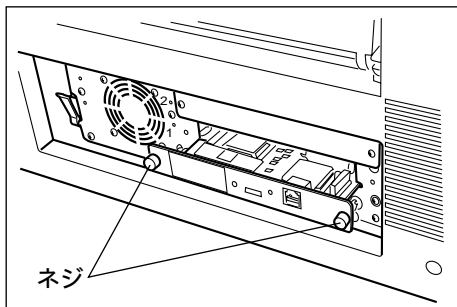
「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

8 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、取り付けた台数分の「給紙装置」を追加します。

5.3 インターフェイスボードの取り付け

拡張パラレルI/Fボードまたは LANI/F ボードのいずれか 1 枚のインターフェイスボードを取り付ける事ができます。

ポイント インターフェイスボードの取り付けにはプラスのドライバが必要です。あらかじめご用意ください。

インターフェイスボードの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。インターフェイスボードのコネクタやICに手を触れないでください。

1 電源スイッチを OFF にします。

2 プラスのドライバーを使用してネジ（2ヵ所）をはずし、シールドカバーを取り外します。

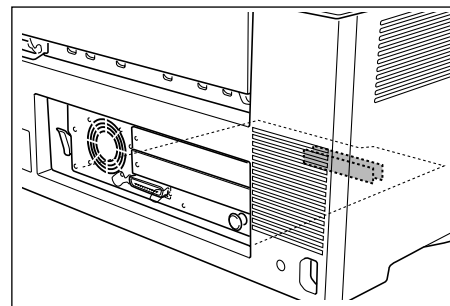
ポイント 拡張パラレル I/F ボード又はLAN I/Fボードは図の下段（スロット No.1 側）の拡張スロットに取り付けてください。（上段（スロット No.2 側）の拡張スロットは使用できません。）

3 拡張パラレル I/F ボード又は LAN I/F ボードをスロットのガイドに合わせて差し込み、ネジ 2 本を手で回して固定します。

ポイント インターフェイスボードが、拡張スロットの奥のコネクタに確実に差し込んでください。

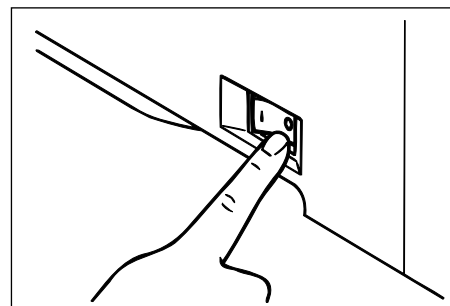
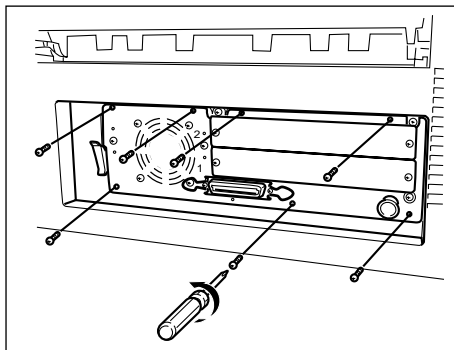
ポイント 拡張パラレル I/F ボードの設定については下記を参照してください。

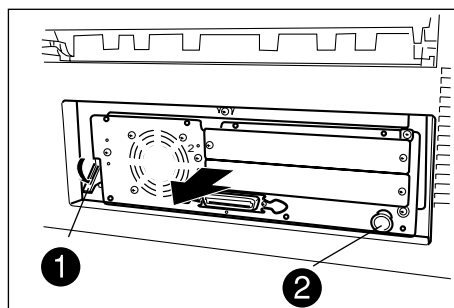
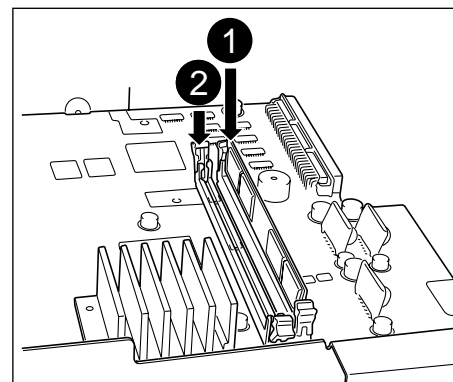
☞ 付録6. 複数のインターフェイスを使用した際の運用について（100 ページ）

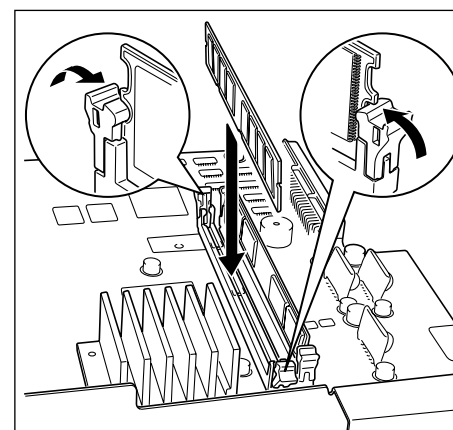
ポイント LANI/F ボードの設定については LANI/F ボードに同梱の取扱説明書を参照してください。

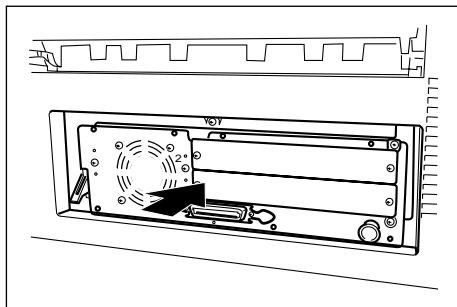
5.4 増設メモリモジュールの取り付け

プリンタのシステムメモリを拡張できます。

ポイント 増設メモリモジュールの取り付けにはプラスのドライバが必要です。あらかじめご用意ください。

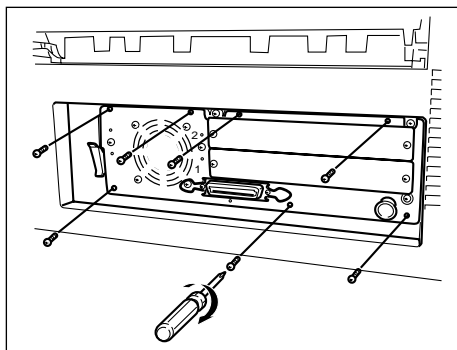
注意! 増設メモリモジュールの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。
増設メモリモジュールのコネクタやICに手を触れないでください。

1 プリンタの電源スイッチを OFF にします。

2 プラスのドライバーを使用して、ネジ(7ヶ所)をはずします。

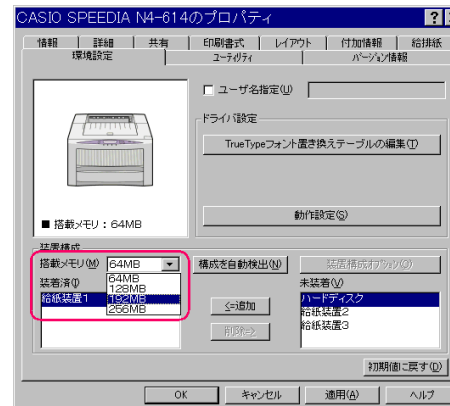
ポイント
取り外すネジの横には⇨マークが刻印されています。その他のネジは取り外さないようご注意ください。

3 レバー❶を図の向きに倒しながら取っ手❷を手前に引いて、インターフェイスボックスを取り出します。

4 増設用メモリモジュールは２ヵ所のソケットのどのソケットでも取り付けられますが、製品出荷時は❶に64Mバイトのメモリーが取り付けられています。

ポイント
❶～❷両方のメモリを128Mバイトにすると最大256Mバイトに増設できます。256Mバイトに増設するときは、❶の64Mバイトのメモリは128Mバイトに交換することになります。

5 増設用メモリモジュールの向きに注意してソケットに奥まで差し込みます。

ポイント
ソケット左右のロックレバーを図の向きに倒して、増設用メモリモジュールを確実にロックしてください。

6 インターフェイスボックスをプリンタに奥までしっかり差し込みます。

ポイント

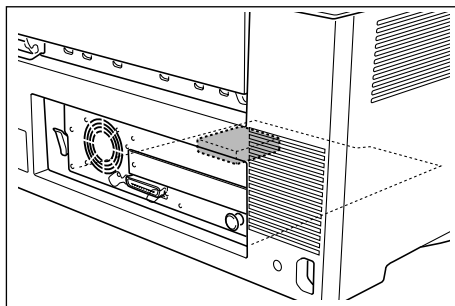
インターフェイスボードのコネクタがプリンタの奥のコネクタに確実に接続するように差し込んでください。

7 パネル（金属板）をネジ7ヶ所で固定します。

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

8 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、メモリ追加後の「搭載メモリ」を選択します。

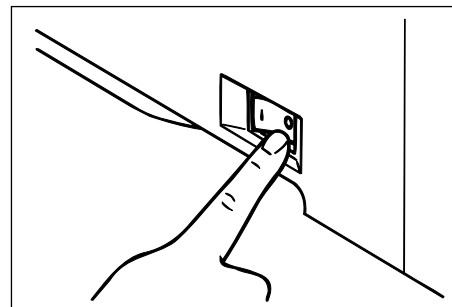
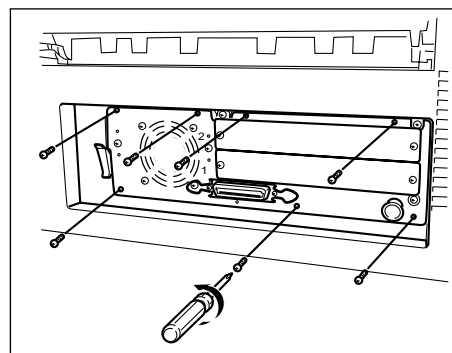
ポイント

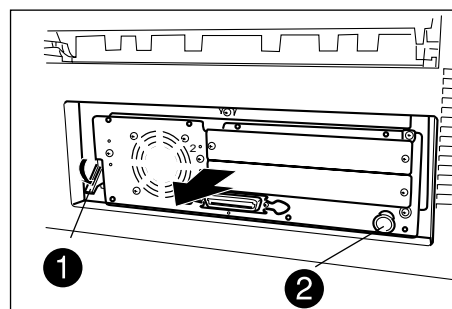
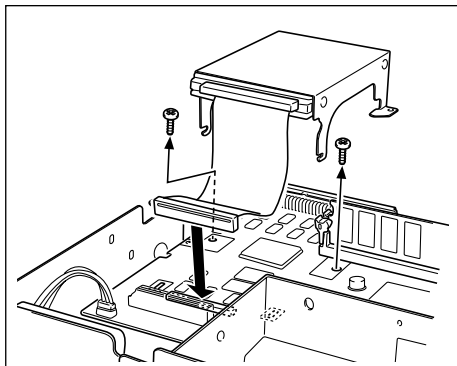
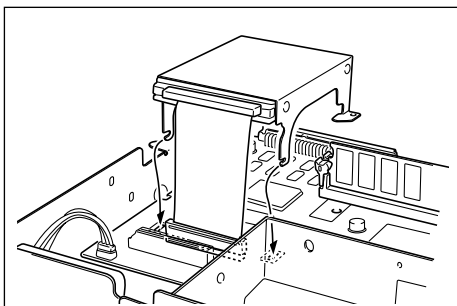
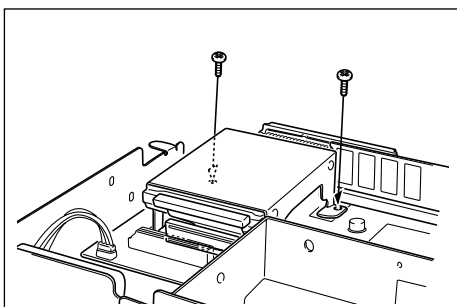
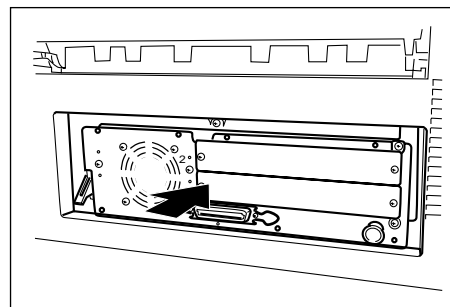
プリンタ情報印刷（ステータスシート）を印刷して、メモリが正しく追加されているか確認できます。

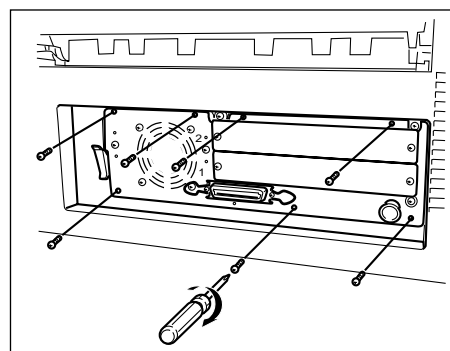
セットアップガイド「6.2セルフプリントの印刷」（29 ページ）

5.5 ハードディスクユニットの取り付け

印刷データをいったんハードディスクに登録する事により、部単位のコピー印刷をプリンタ側で行なえるようになります。大量の部単位コピー印刷でも、パソコン側の負担になりません。

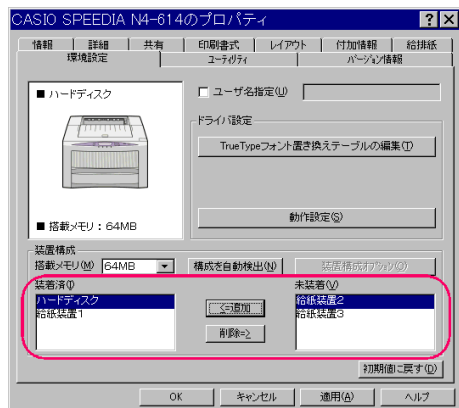
ポイント ハードディスクユニットの取り付けにはプラスのドライバーが必要です。あらかじめご用意ください。

ハードディスクユニットの取り付けは、プリンタの電源スイッチをオフにしてから行なってください。
ハードディスクユニットのコネクタやICに手を触れないでください。
ハードディスクユニットは衝撃に弱いため、取り付けの際に落としたりしないようご注意ください。

1 プリンタの電源スイッチを OFF にします。

2 プラスのドライバーを使用して、ネジ（7ヶ所）をはずします。

ポイント 取り外すネジの横には ⇨ マークが刻印されています。その他のネジは取り外さないようご注意ください。

3 レバー❶を図の向きに倒しながら取っ手❷を手前に引いて、インターフェイスボックスを取り出します。

4 **固定用のネジ 2 本を取り外し、ハードディスクユニットのハーネスを図のコネクタに差し込みます。**

5 **ハードディスクユニットのフックを図の位置に引っ掛けます。**

6 **4 で取り外したネジ 2 本で固定します。**

7 **インターフェイスボックスをプリンタに奥までしっかり差し込みます。**

ポイント
インターフェイスボードのコネクタがプリンタの奥のコネクタに確実に接続するように差し込んでください。

8 **パネル（金属板）をネジ 7ヶ所で固定します。**

「スタート」→「設定」→「プリンタ」→「SPEEDIA N4-614」右クリック→「プロパティ」→「環境設定」タブ画面

9 プリンタドライバの「環境設定」タブ画面で、「ハードディスク」を追加します。

ポイント 新しいハードディスクを使用する前にフォーマットを行なってください。

☞ リファレンスマニュアル「HDD フォーマット」（15 ページ）

ポイント セルフプリント（ステータスシート）を印刷して、ハードディスクが正しく追加されているか確認できます。

☞ セットアップガイド「6.2 セルフプリントの印刷」（29 ページ）

6. 困ったときの処置方法

お困りの内容が次のどれに当てはまるか選んで該当するページをクリックしてください。
どうしても解決しないときは「お問い合わせ先」をクリックして、それぞれのお問い合わせ先にご連絡ください。

6.1 表示パネルのメッセージと処置方法

オペレータコール

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
カセットサイズ゛　カクニン CPF1　2　3	下段に表示されているペーパカセットに使用できないサイズの用紙がセットされています。またはペーパカセットのガイドが正しい位置にありません。 注）下段には該当するペーパカセットの番号が表示されます。	正しく用紙をセットして、ガイドを用紙サイズの位置にあわせて固定してください。	24
カハ゛ーオーフ゜ン トップカハ゛ー	ルーフまたは排紙カバーが開いています。	ルーフまたは排紙カバーをきちんと閉めてから印刷を開始してください。 注）カバーオープン時にブザーは鳴りません。	21
カミツ゛マリ　▲▲マイ ABCHI	紙詰まりが起こりました。 ▲▲：　詰まっている用紙の枚数を表します。なお？？と表示されたら枚数不明状態です。 ABCHI：該当する紙詰まりの場所が全て表示されます。	詰まった用紙を取り除いてください。 注）実際の紙詰まり枚数と表示枚数は、一致しない事があります。また、紙詰まりの場所はおおよその場所ですので、それ以外の場所に用紙が詰まっている可能性もあります。	40
テイチャククリーナ　コウカン	定着クリーナの交換時期になりました。	定着クリーナを新しい定着クリーナと交換してください。取消ボタンを押すと、「クリーナヲ　コウカンシマシタカ？」と表示されますので、 • 交換した場合、実行ボタンを押してください。印刷が再開されます。 • 交換しないで再開したい場合は、取消ボタンを再度押してください。	13

LCD表示メッセージ	状 態	処 置	参照ページ
トナー　　コウカン　　　ＫＹＣＭ	トナーセットが寿命になりました。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	該当する色のトナーセットを新しいものと交換してください。	16
トナー　コウカンジ゛キ　ＫＹＣＭ	トナー残量が少ないため、画像が薄くなったり、画質が低下しやすい状態で印刷している事を示しています。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	「トナー　コウカンヨコク」が表示されたときに取消ボタンを押すとこの表示になります。該当する色の新しいトナーセットをご準備ください。	16
トナー　コウカンヨコク　ＫＹＣＭ	トナーセットの寿命が近くなりました。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	該当する色の新しいトナーセットをご準備ください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	16
トナードラムカクニン　ＫＹＣＭ	トナーセットまたはドラムセットが取り付けられていません。もしくは正しく取り付けられていません。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	トナーセットまたはドラムセットを正しく取り付けてください。	9 16
ド゛ラム　イジ゛ョウ　　ＫＹＣＭ	ドラムセットに異常が発生しました。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	ドラムセットをお買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。	86
ド゛ラム　コウカン　　　ＫＹＣＭ	ドラムセットの寿命になりました。 「KYCM」の部分は該当する色の文字が表示されます。 K:ブラック　Y:イエロー　C:シアン　M:マゼンタ	該当する色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。取消ボタンを押すと印刷を再開します。	9

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
メンテナンス　シテクダ゛サイ サービ゛スニレンラク	定期交換部品の交換が必要です。	お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。そのまま印刷し続けるとプリンタの故障の原因になることがあります。	84 86
メンテナンス　ジ゛キ サービ゛スニレンラク	定期交換部品の交換時期がきました。	早めにお買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。取消 ボタンを押すと、一時的に表示は消えます。	84 86
メンテナンス　ヨコク サービ゛スニレンラク	定期交換部品の交換時期に近づきました。	お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。取消 ボタンを押すと印刷を再開します。	84 86
メンテナンス　ジ゛キ　テイチャク サービ゛スニレンラク	定着器の交換時期がきました。 (N4-614Pのみ表示)	お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。取消 ボタンを押すと印刷を再開しますが、表示は消えません。	84
メンテナンス　ヨコク　テイチャク サービ゛スニレンラク	定着器の交換時期に近づきました。 (N4-614Pのみ表示)	お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。取消 ボタンを押すと印刷を再開します。	84
ヨウシカセット　ナシ CPF1　2　3	下段に表示されているペーパカセットがプリンタに取り付けられていません。 注)下段には該当するペーパカセットの番号が全て表示されます。	ペーパカセットを、プリンタの奥まで確実に取り付けてください。	26
ヨウシ　ホキュウ　　※※※※※※ MPF　CPF123	下段に表示されているペーパカセットの用紙がなくなりました。 ※※：　用紙サイズを表します。	各給紙部に用紙を補給してください。	24 27

警告エラー

LCD表示メッセージ	状 態	処 置	参照ページ
ＬＡＮ ﾎﾞｰﾄﾞ ｲｼﾞｮｳ ﾎﾞｰﾄﾞ ｶｸﾆﾝ	LANボードが正しく装着できていない、あるいは、LANボードに異常が発生しました。	電源切断した後、ボードが奥まで正しく差し込まれているか確認してください。ボードを正しく装着して、もう一度電源を入れ直してください。それでも左記メッセージを表示している場合は、LANボードを交換してください。	54
ｾｯﾃｲﾅｲﾖｳ ｲｼﾞｮｳ ｾｯﾃｲｼｮｷｶｦｼﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタの制御プログラムをバージョンアップしたときなど、設定メモリ(EEPROM)の初期化が必要な事を示しています。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてから設定メモリを初期化してください。	リファレンスマニュアル 16
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ｶｷｺﾐｴﾗｰ	ハードディスクにデータを書き込む事ができません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。もう一度データを送り直してください。	−
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ﾃﾞｰﾀｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。異常箇所を削除します。	−
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ﾌｫｰﾏｯﾄｲｼﾞｮｳ	ハードディスクに書き込まれているデータファイルに自動復旧不可能な異常箇所がありました。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。ハードディスクのフォーマットを実行してください。	リファレンスマニュアル 15
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ﾐｿｳﾁｬｸ	ハードディスクが装着されていません。	取消ボタンを押して、エラーを解除してください。ハードディスクを取り付けてください。	58
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ｱｷﾖｳﾘｮｳ ﾌｿｸ	ハードディスクに空き容量がありません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。不要なデータを削除してください。	−
ﾊｰﾄﾞ ﾃﾞｨｽｸ ﾖﾐﾀﾞｼｴﾗｰ	ハードディスクからデータを読み込む事ができません。	取消ボタンを押して、エラーをスキップしてください。	−

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
メモリオーバ゛ー メモリガ゛タリマセン	メモリ容量不足で印刷ができません。	取消 ボタンを押して、エラーを解除してください。別売の増設メモリモジュールを取り付けて、全体のメモリ容量を増やしてください。または解像度を下げて印刷してください。	55
ヨウシ　コウカン　※※※※※※ MPF　CPF123	印刷しようとしたサイズの用紙がプリンタにセットされていません。 ※※：用紙サイズを表します。	表示されている給紙口に、表示されているサイズの用紙を入れ、取消 ボタンを押してください。用紙を交換せずに 取消 ボタンを押すと、現在セットされている用紙に印刷します。	23

エラーメッセージ

LCD表示メッセージ	状　態	処　置	参照ページ
サービ゛ス　ニ　レンラク！！ ×××	プリンタの修理が必要です。 ×××には3桁の数字が表示されます。	一度電源をOFFにし、数分後に電源をONにします。再度表示されたときは、×××部分の表示部を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。	86
デ゛ンゲ゛ンヲ　キッテクダ゛サイ ×××	プリンタ内部にエラーが発生しました。 ×××には3桁の数字が表示されます。	電源を再投入すると復旧します。再度表示されたときは、×××部分の表示部を書き写して電源をOFFにし、お買い上げの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。	86

6.2 電源のトラブル

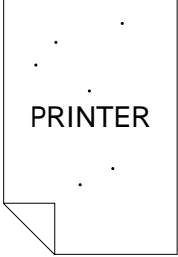
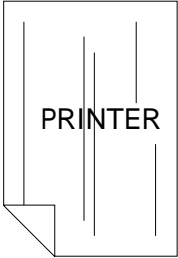
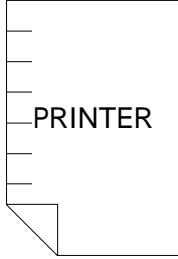
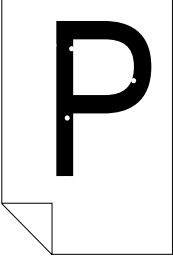
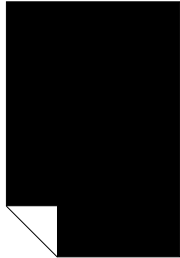
現　象	確　認	処　置
プリンタの電源が入らない	電源コードが抜けていませんか？	プリンタのインレット側とコンセント側に電源コードを確実に差し込んでください。
	コンセントに電源は来ていますか？	ほかの電気製品をコンセントに差し込んで、動作するか確認してください。
	コンセントの電圧(100V、15A)は正しいですか？	コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。他の電子機器(パソコン等)のサービスコンセントは接続しないでください。
ブレーカーが動作してしまう	ブレーカーの定格は十分ですか？ 本プリンタの最大消費電力は855W(約8.6A)です。	ブレーカーの定格が十分でも、ブレーカーが動作するときは、他の機器(パソコン、ファクシミリ等)を他のコンセントに差し替えるか、本プリンタ用の別配線をご用意ください。

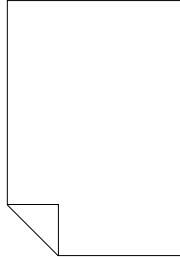
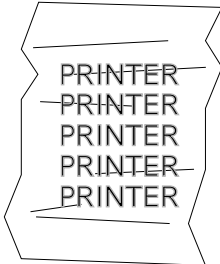
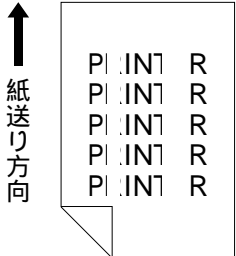
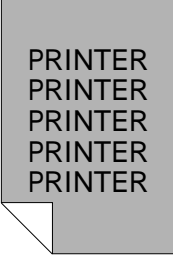
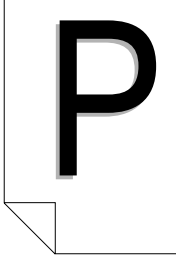
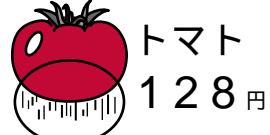
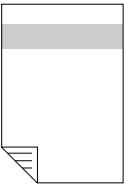
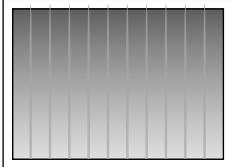
6.3 印刷できない

原　因（確認）	処　置	参照ページ
プリンタケーブルが抜けていませんか？	プリンタケーブルのパソコン側とプリンタ側を確実に差し込んでください。	セットアップガイド31
オンラインランプが消灯していませんか？	オンラインボタンを押して、オンラインランプを点灯させてください。	―
プリンタとパソコンの間にプリンタ切り替え機や変換アダプタ類を使用していませんか？	プリンタ切り替え機、プリンタバッファ、延長ケーブル、各種変換アダプタの種類によっては、正しく動作しない場合があります。パソコンとプリンタを直接つないで印刷してみてください。	―
プリンタケーブルはパソコンやプリンタの仕様に合っていますか？	IEEE1284規格のプリンタケーブルをご使用ください。弊社オプション品のプリンタケーブルCP-CA554（DOS/Vパソコン用）のご使用を推奨します。	―
プリンタのステータスシート（セルフプリント）は印刷できますか？	印刷できるときは、パソコン側に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。	―
他のパソコンから印刷できますか？	ネットワークで共有している他のパソコンから印刷できるときは、パソコン側に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。他のコンピュータからも印刷できない場合は、ネットワークに問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談の上、LANボードのマニュアルを参照して設定を確認してください。	LANボード（オプション）マニュアル
プリンタがエラーメッセージを表示していませんか？	「表示パネルのメッセージと処置法」を参照して、処置してください。	62
本プリンタを「通常使うプリンタ」に設定してみてください。	アプリケーションソフトによっては、通常使うプリンタから印刷される場合があります。	―
印刷の内容を減らしたり、解像度をさげてしてみてください。	印刷の内容や解像度によってはパソコンやプリンタのメモリ不足等によって極端に時間がかかったり、印刷できない場合があります。	―

6.4 紙詰まりのトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
斜めに印刷されて紙詰まりになる	マルチペーパフィーダまたはペーパカセットの用紙ガイドが正しくセットされていますか？	マルチペーパフィーダまたはペーパカセットの用紙ガイドを、用紙に軽く当たる位置にセットし直してください。	24 27
	カセットの底板を押し下げずに本体に差し込んでいませんか？	カセットの底板を押し下げてから本体にゆっくり差し込んでください。	24
用紙がシワになって紙詰まりになる	用紙の規格は合っていますか？セットされている用紙に波打ちや折り目などがありませんか？	不適切な用紙を取り除いてください。弊社推奨紙のご使用をおすすめします。	90
	全面ベタ印刷をしていませんか？	用紙送り方向に対して先端部分の余白を大きくしてください。	77
用紙が重なって印刷されて紙詰まりになる	用紙の継ぎ足しをしていませんか？	継ぎ足した用紙を取り除いてください。	―
	種類の違う用紙をセットしていませんか？	種類の違う用紙を取り除いてください。	―
	裁断面のバリ、ラベル紙の粘着材、用紙の静電気などで、用紙同士が付着していませんか？	用紙をさばいてからセットしてください。用紙同士の付着がひどいときはマルチペーパフィーダから1枚づつ印刷してみてください。	27
用紙が給紙されずに紙詰まりになる	給紙がスリップしています。	給紙口の用紙を裏表逆にしてみてください。	―
	給紙ロールに汚れ（紙粉など）が付着しています。（MPF給紙の場合のみ）	給紙ロールの汚れを、水を含ませて固く絞った布で拭き取ってください。	81
	用紙をセットしすぎていませんか？	横ガイドに貼ってあるラベルの「▼」マークより下（MPFの場合は横ガイド内側の突起より下）になるように、入れすぎた用紙を取り除いてください。	―

ページプリンタで快適な印刷を行なうためには、用紙の選定が重要です。お手持ちのコピー用紙をご使用になる前に必ず
☞ 付録 2. 用紙について（90 ページ）をご覧ください。

用紙のサイズや厚さが規格内でも紙質等により紙詰まりが多発したり、画質が低下する事があります。大量の用紙を、お買い求めになるときは、事前に十分テスト印刷を行ない、このようなトラブルが発生しない事をご確認ください。

6.5 印刷品質のトラブル

印刷品質が悪い場合は、以下の表からもっとも近いと思われる症状を選び、処置を行なってください。
該当する処置を行なっても印刷品質が改善されない場合は、お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ･サービスステーション ☞(86 ページ) までご連絡ください。

症　状	原　因	処　置
印刷がうすい (かすれる、不鮮明)	パネル側で「F3トナーセーブ」が設定されていませんか。	「F3：トナーセーブ」を正しく設定してください。 ☞ リファレンスマニュアル「G2：トナーセーブ」(25ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 2. 用紙の補給(23ページ)
	トナーセット内にトナーが残っていません。	新しいトナーセットと交換してください。 ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	プリンタが結露しています。 気温が低い日の朝や、室外から室内に移動したときに発生しやすくなります。	電源スイッチをONにしたまま10～20分間放置します。セルフプリント☞ セットアップガイド(29ページ)を行ない、印刷が濃くなった事を確認します。結露がひどいときは回復に1時間程度かかる事があります。
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	印刷が薄くなる色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ)
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。

症　状	原　因	処　置
斑点が印刷される	紙詰まり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。特に定着ユニットに詰まった用紙を排紙口側から引き抜くと発生しやすくなります。☞ (43ページ)	数枚印刷すると汚れは消えます。 汚れが消えないときは、定着クリーナを交換してください。
	定着クリーナの交換時期	新しい定着クリーナと交換してください。 ☞ 1.4 定着クリーナの交換方法(13ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(90ページ)
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、斑点が出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ)
線が印刷される	ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、線が出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ)
等間隔に汚れる	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚白紙を印刷して汚れを落としてください。
	ドラムセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、汚れが出る色のドラムセットを新しいドラムセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ)

症　状	原　因	処　置
ぬりつぶされた部分に白点が現れる	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(90ページ)
	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	白点が印刷される色のドラムセットまたはトナーセットを新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
指でこするとかすれる	紙種の設定が合っていません。	使用する用紙に合わせて紙種の設定をしてください。 ☞ リファレンスマニュアル「G0：紙種」(24ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 2. 用紙の補給(23ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(90ページ)
用紙全体がぬりつぶされる	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	白紙を印刷して、ぬりつぶされる色のドラムセットまたはトナーセットを新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
	プリンタの故障が考えられます。	販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。 ☞ カシオテクノ・サービスステーション(86ページ)

症　状	原　因	処　置
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	印刷できなくなった色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
	ドラムセットまたはトナーセットが劣化または損傷しています。	印刷できなくなった色のドラムセットまたはトナーセットを新しいドラムセットまたはトナーセットと交換してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
	プリンタの故障が考えられます。	販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーションにご連絡ください。 ☞ カシオテクノ・サービスステーション(86ページ)
部分的に白く抜ける・カスレる・薄い PRINTER PRINTER	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 2. 用紙の補給(23ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について(90ページ)
	酸性紙を使用していませんか。	中性紙をご使用ください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	白く抜ける色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
	長尺紙に印字率が高い(ベタ部分が多い)画像を印刷していませんか。	網かけを使うなどにより印字率を低くして印刷してください。

症　状	原　因	処　置
用紙にシワがつく 文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。	適切な用紙をセットしてください。 ☞ 付録2. 用紙について（90ページ）
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。 ☞ 2. 用紙の補給（23ページ）
縦長に白抜けする 紙送り方向	LEDヘッドのレンズが汚れています。	LEDヘッドのレンズをきれいな乾いた布またはティッシュ等で拭いてください。 ☞ LEDヘッドの清掃方法（80ページ）
	トナーセットの現像ロールにトナーが詰まっています。	現像ロールクリーナでトナーの詰まりを直してください。 ☞ 現像ロールクリーナの使い方（82ページ）
	トナーセット内のトナーが均一になっていません。	トナーセットを取り出して左右に4～5回振って中のトナーを均一にしてください。
	トナーセット内にトナーが残っていません。	白抜けする色のトナーセットを新しいトナーセットと交換してください。 ☞ 1.5 トナーセットの交換方法（16ページ）
	トナーセットが劣化または損傷しています。	
	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法（9ページ） ☞ 1.5 トナーセットの交換方法（16ページ）

症　状	原　因	処　置
背影がトナーで汚れる	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
色がズレる	ドラムセットまたはトナーセットが正しく取り付けられていません。	ドラムセットまたはトナーセットを正しく取り付け直してください。 ☞ 1.3 ドラムセットの交換方法(9ページ) ☞ 1.5 トナーセットの交換方法(16ページ)
		色ズレの調整を行ってください。 ☞ 付録9. 色ズレの調整(104ページ)
長尺紙に印刷できない	アプリケーションソフトが最大297×900mmの原稿サイズをサポートしていないと長尺紙の原稿が作成できません。	任意の用紙サイズで297×900mmを設定できるアプリケーションソフトで原稿を作成してください。
長尺紙の印刷が遅い	プリンタドライバの設定を変更すると改善される事があります。	プリンタドライバの「印刷書式」の設定で「画面プレビュー優先」に設定してください。
	プリンタのメモリが不足しています。	標準64MBに対して128MBのメモリを追加し、合計192MB以上のメモリを推奨します。
	長尺紙に対して横書きの原稿を作成すると印刷に時間がかかります。	長尺紙に対して縦書きの原稿にすると速くなります。

症　状	原　因	処　置
印刷面が汚れる 裏面が汚れる ＯＨＰフィルムの印刷画像が剥がれて別の場所に付着する	定着クリーナの交換時期です。	新しい定着クリーナと交換してください。 ☞ 1.4 定着クリーナの交換方法（13ページ） ※ ＯＨＰフィルムに印刷するときは、約3,０００枚を目処に別売の定着クリーナに交換してください。 ☞ 1.1 消耗品について（6ページ）
ベタ印刷部分にこすれあとが付く	紙送り方向に対して先端部分に黒に近い色（Y,M,Cを重ねた暗い色）を印刷すると発生しやすくなります。ひどい場合は定着器に用紙が詰まることがあります。	先端部分の余白を広げてください。 先端部分の暗い色を明るい色（薄い色）に変更してください。 先端部分が暗い色の画像を連続して印刷しないようにしてください。

6.6 印刷内容のトラブル

症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
カラーで印刷できない	プリンタドライバの設定が「モノクロ」になっていませんか？	プリンタドライバの設定を「カラー」にしてください。アプリケーションソフト側でもカラーに設定しなければならない場合があります。	プリンタドライバマニュアル16
印刷の途中で2枚に分かれて印刷される	自動排紙時間が短すぎませんか？	自動排紙時間を長めまたは「OFF」に設定して印刷してみてください。	リファレンスマニュアル33
文字化けする 白紙が何枚もでてくる	プリンタドライバの機種設定は合っていますか？	本プリンタのプリンタドライバをインストールし直してください。	–
	プリンタとパソコンの間にプリンタ切り替え機や変換アダプタ類を使用していませんか？	プリンタ切り替え機、プリンタバッファ、延長ケーブル、各種変換アダプタの種類によっては、正しく動作しない場合があります。パソコンとプリンタを直接つないで印刷してみてください。	–
	プリンタケーブルはパソコンやプリンタの仕様に合っていますか？	IEEE1284規格のプリンタケーブルをご使用ください。弊社オプション品のプリンタケーブルCP-CA554（DOS/Vパソコン用）のご使用を推奨します。	–
	プリンタケーブルが抜けかかっていませんか？	プリンタケーブルを確実に差し込み直してください。	–

6.7 その他のトラブル

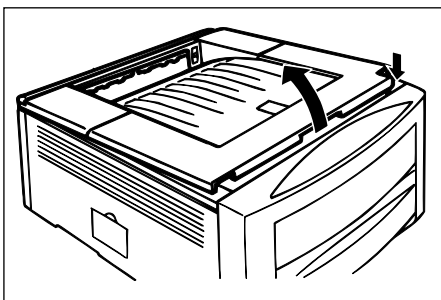
症　状	原　因（確認）	処　置	参照ページ
印刷に時間がかかる	プリンタがスリープ状態になっていませんか？スリープ状態から印刷をスタートすると印刷開始までに最大160秒かかる事があります。	操作パネルの設定で「GO: スリープ」を最大の240分に設定してください。	リファレンスマニュアル 11
	モノクロページのエコノミー印刷を「1枚ごと」に設定していませんか？カラーとモノクロを切り替えるごとに印刷を中断するため印刷が遅くなります。	プリンタドライバの設定で、モノクロページのエコノミー印刷を「しない」に設定してください。	プリンタドライバマニュアル 23
	ファイルサイズの大きい画像データを印刷していませんか？	プリンタのメモリ増設により改善される事があります。ただし、パソコン側のスプールに時間がかかっている場合はプリンタ側にメモリ増設しても効果は期待できません。	99
周辺のパソコンや電気製品に異常が発生する	電源容量は十分ですか？ プリンタは一時的に大電力を消費しますので、同じコンセントからパソコン等の電源を取ると、画面がチラついたりリセットがかかる事があります。	プリンタを15A以上の独立したコンセントに差し替えてご使用ください。	

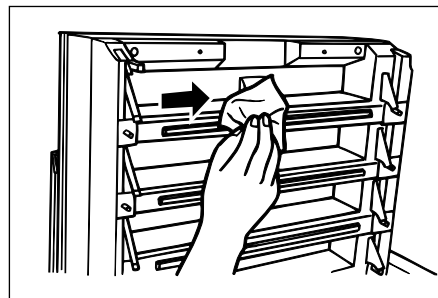
6.8 日常のお手入れ

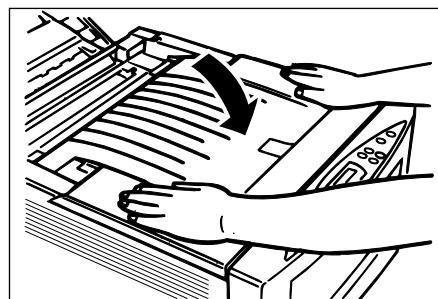
● LED ヘッドの清掃方法

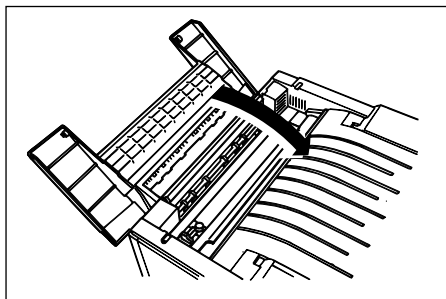
紙送り方向

LEDヘッドのレンズがトナー等で汚れると、左図のように画像がスジ状に白く抜けることがあります。このようなときは以下の手順で LED ヘッドのレンズを清掃してください。

> ポイント
> **清掃にはきれいな乾いた布またはティッシュペーパーが必要ですのであらかじめご用意ください。**

1 ルーフの右にあるルーフ解除ボタンを押してロックを解除し、ルーフを開けます。

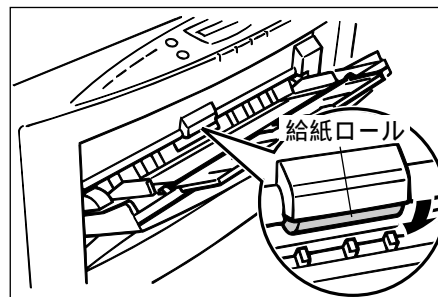
> **⚠ 注 意**
>
> **ルーフは必ず最後まで開けてください。途中で止めたり、開けたルーフに手を触れると、ルーフが閉じて手などを挟まれ、けがをすることがあります。**

2 LED ヘッドのレンズ（ガラス面）をきれいな乾いた布またはティッシュペーパーで拭いてください。

> ポイント
> **レンズの端から端まで布をすべらせるようにして汚れを拭き取ってください。**
>
> ポイント
> **LED ヘッドは全部で 4 本あります。全ての LED ヘッドのレンズを清掃してください。**

3 ルーフを両手でささえながらゆっくり閉め、両手でルーフの両端を押して、「カチッ」とロックするまで確実に閉めます。

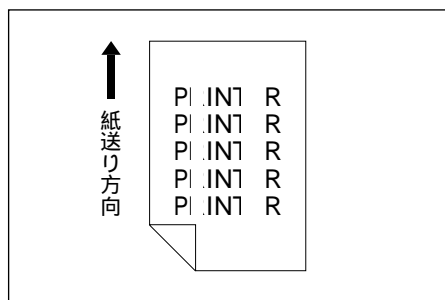
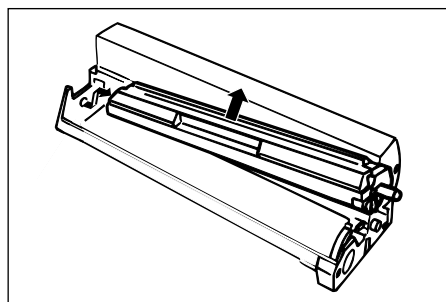
> ポイント
> **ルーフが閉まらないときは無理に閉めないで、ドラム・トナーセットが確実に取り付けられているか確認してください。無理に閉めると故障の原因になります。**
>
> ポイント
> **ルーフが確実にロックされていることを確認してください。確実にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。**

4 排紙カバーを閉めます。

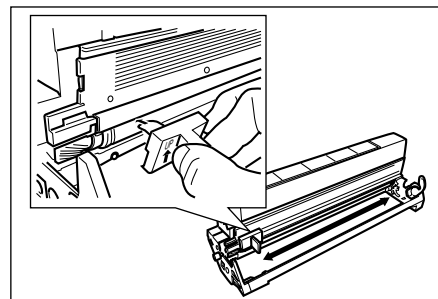
※ LEDヘッドの清掃をしても画像に白スジが出る場合は、ドラムセット又はトナーセットの劣化又は損傷が考えられます。新しいドラムセット又はトナーセットに交換してください。

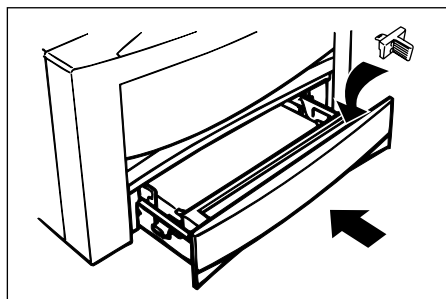
●給紙ロールの清掃方法

マルチペーパフィーダの給紙ロールに紙粉などの汚れが付着すると、用紙がスリップして紙詰まりが発生しやすくなります。このようなときは、以下の方法で給紙ロールに付着した汚れ（紙粉など）を拭き取ってください。

マルチペーパフィーダを開け、底板が下がっている状態にします。

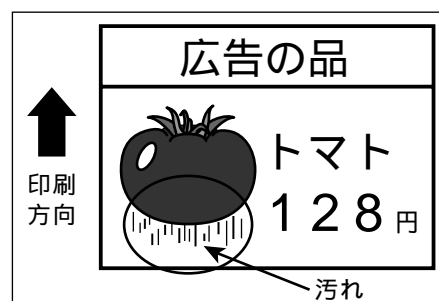
水を含ませて固く絞った布で、図の給紙ロール（グレーのゴムロール）を矢印の方向（）に少しづつ回しながら拭いてください。

●現像ロールクリーナの使い方

トナーセットの現像ロールにトナーが詰まると、印刷画像が図のように縦長に白く抜けることがあります。
このようなときは、現像ロールクリーナで現像ロールに詰まっているトナーを取り除いてください。

1 **白抜けする色のドラム・トナーセットをプリンタから取り出し、ドラムセットを取り外します。**

※取り外したドラムセットは、光が当たらないように紙などを被せておいてください。

2 **トナーセットの現像ロール（トナーが付着しているゴムローラ）の上側の隙間に現像ロールクリーナのツメ（金属板）を奥まで差し込み、左右に2～3回ゆっくりとスライドさせます。**

※現像ロールクリーナは必ず左右の端から端までスライドさせてください。途中で止めるとその部分が白抜けすることがあります。

3 **現像ロールクリーナに付着しているトナーをティッシュペーパー等で拭き取ってから、ペーパカセット手前の隙間（図の位置）に保管してください。**

※トナーが付着したまま他の色のトナーセットを清掃すると色が混じってしまいます。必ず現像ロールクリーナに付着しているトナーを拭き取ってからご使用ください。

●定着クリーナの交換

厚紙に印刷すると定着クリーナが汚れやすくなります。定着クリーナが汚れると印刷面または裏面にこすれたような汚れが付くようになります。このようなときは新しい定着クリーナ（N4-612TCLN）に交換してください。定着クリーナを交換せずに使用し続けると、定着ユニットの寿命を縮めますので、早目の交換をお勧めします。**☞1.4 定着クリーナの交換方法（13ページ）**

※定着クリーナを交換したとき及び、厚紙（105g/m^2以上）を印刷した後に薄手の紙（104g/m^2以下）を印刷すると、裏面にトナーの汚れが付着することがあります。このようなときは、初めの１～２枚はＡ４サイズの用紙をマルチペーパフィーダに横置きにセットし、OHPモード☞（32ページ）で印刷して汚れを取り除いてください。

6.9 定期交換部品について

本プリンタの定期交換部品(摩耗などにより機能低下する部品)の種類と、一般的な使用方法※1での交換目安は以下の通りです。これらの部品が摩耗すると、「紙詰まりが多くなる」「斜めに印刷される」「印刷面または裏面に黒スジが印刷される」等の症状が多発するようになります。このようなときはお買い求めの販売店または、お近くのカシオテクノ・サービスステーション ☞(86 ページ) にお問い合わせください。

<table>
<tr><th rowspan="2">定期交換部品</th><th colspan="2">交換目安</th></tr>
<tr><th>N4-614P</th><th>N4-614</th></tr>
<tr><td>●転写ベルトユニット</td><td>6万枚</td><td rowspan="2">6万枚</td></tr>
<tr><td>●定着ユニット</td><td>4万枚</td></tr>
<tr><td>●給紙ロール
●搬送ロール
●待機ロール</td><td colspan="2">12万枚</td></tr>
</table>

※1 一般的な使用方法とは以下の条件を想定しています。

① 平均通電時間は 1 日 8 時間
② A4 サイズ横送り
③ 弊社推奨普通紙(N4-614P は 128g/m^2 用紙、N4-614 は 64g/m^2 用紙)を使用
④ 1 回の印刷で 2 枚印刷
⑤ 環境は常温・常湿

ただし、お客様の使用形態により異なりますので、交換目安よりも早く交換が必要になる場合があります。

※2 定期交換枚数になると、表示パネルに「メンテナンスジキ　サービスニレンラク」と表示されます。「取消」ボタンを押すと印刷を再開しますが、さらに印刷し続けると「メンテナンスシテクダサイ　サービスニレンラク」と表示され印刷できなくなりますので、早めに定期交換部品を交換してください。

6.10 お問い合わせ先

どうしても操作がわからない、解決できない状態に陥った・・・
というときは、お客様担当の営業マンが対応いたします。

お問い合わせの際は、次の点についてお知らせください。

- ご氏名
- ご連絡先の電話番号
- プリンタの機種名
- プリンタのシリアル No.
- 接続パソコン名称、ご使用のソフトウェアの名称およびバージョン
- 機器構成（プリンタ切り替え機など）
- 現在どういう状態か
- どのような操作を行なったか
- プリンタの設定状態は（表示パネルの表示等）

さらに必要な場合

- 印字サンプル
- ステータスシート（プリンタ情報印刷）
- HEX ダンプ

インターネット・インフォメーション

各種ドライバ類・製品情報などを提供しております。

http: //www.casio.co.jp/ppr/

お問い合わせ窓口

製品の取り扱い方法・ソフト上のお問い合わせ

ご購入された販売店または担当営業にご連絡ください。

製品の機能設定方法およびソフト的障害に関するお問い合わせ

テクニカルインフォメーションセンター

TEL 03-5334-4557

受付時間は AM10:00 ～ 11:55、PM1:00 ～ 5:00。
土、日、祝日（社内規定休日）は休み。

製品の故障や修理に関するお問い合わせ

カシオテクノ・コールセンター

0570-03306

市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間　月曜日～土曜日　AM9:00 ～ 12:00　PM1:00 ～ 5:30
（日・祝日・年末年始・夏期休暇等を除く）
※携帯電話・PHS 等をご利用の場合は 03-5294-7022 まで

製品のハード的障害に関するお問い合わせ

カシオテクノ・サービスステーション

受付時間は AM9:00 〜 PM5:30。日、祝日は休み。

拠点名	電話番号	郵便番号	所在地	管轄区域
札　幌	011-281-1251	060-0063	札幌市中央区南 3 条西 10-1001-5 福山南 3 条ビル	北海道
盛　岡	019-646-3395	020-0125	盛岡市上堂 2-3-6	青森県　岩手県　秋田県
仙　台	022-293-0419	983-0852	仙台市宮城野区榴岡 5-1-35	宮城県　福島県　山形県
高　崎	0273-23-5000	370-0054	高崎市新町 67-1	群馬県
水　戸	029-225-6472	310-0803	水戸市城南 3-10-17	茨城県
宇都宮	028-623-5503	320-0053	宇都宮市戸祭町 3009-8	栃木県
新　潟	025-287-1152	950-0925	新潟市弁天橋通り 3-9-12	新潟県
長　野	026-222-6895	380-0911	長野市大字稲葉宇日詰 1592-1	長野県
埼　玉	048-642-7234	330-0843	さいたま市吉敷町 1-89 タカラビル 1F	埼玉県
東　京	03-5294-7022	101-0021	千代田区外神田 2-2-18	東京都 23 区
横　浜	045-441-2177	221-0052	横浜市神奈川区栄町 3-12 ヨコハマツインビル 2F	神奈川県
千　葉	043-243-1081	260-0022	千葉市中央区神明町 13-4	千葉県
名古屋	052-324-2165	460-0024	名古屋市中区正木 3-9-27 NFC 金山ビル 2F	愛知県　高山を除く岐阜県　三重県
金　沢	076-224-0061	920-0064	金沢市南新保町ト 52	石川県　福井県　富山県　岐阜県高山
静　岡	054-281-8085	422-8056	静岡市津島町 16-23	静岡県
大　阪	06-6243-6213	541-0056	大阪市中央区久太郎町 3-6-8 御堂筋ダイワビル 7F	大阪府　奈良県　和歌山県
神　戸	078-392-3500	650-0032	神戸市中央区伊藤町 119	兵庫県
京　都	075-351-1161	600-8107	京都市下京区五条通知新町東入東錺屋町 186 ヤサカ五条ビル 2F	京都府　滋賀県
広　島	082-230-5900	733-0001	広島市西区大芝 2-14-10	広島県　島根県　鳥取県米子　山口県
岡　山	086-244-3404	700-0926	岡山市西古松西町 9-1	岡山県　米子を除く鳥取県
高　松	087-837-7641	760-0078	高松市今里町 2-21	香川県　徳島県　高知県　愛媛県
福　岡	092-413-6008	812-0007	福岡市博多区東比恵 2-16-23	福岡県　佐賀県　長崎県　大分県　沖縄県
熊　本	096-367-0614	862-0911	熊本市健軍 1-38-7	熊本県
鹿児島	099-256-3573	890-0065	鹿児島市郡元 1-1-3	鹿児島県　宮崎県

付録 1. 主な仕様

項目＼形式			N4-614	N4-614P
形式			デスクトップ型	
プリント方式			LEDヘッド＋乾式電子写真方式	
エンジン解像度			600 x 2400dpi	
データ解像度			600dpi/300dpi	
スムージング			CAST (CASIO Smoothing Technology)（黒印刷部分のみ） 1200dpi相当（データ解像度600dpi時）　600dpi相当（データ解像度300dpi時）	
プリント速度（コピーモード時）	標準（カセット給紙時）		14枚/分（A4横以下）　（カラー・モノクロとも同じ） 7.4枚/分（B4縦）、6.5枚/分（A3縦）	
	OHPモード		12枚/分（モノクロ印字時：A4横）　3枚/分（カラー印字時：A4横）	
用紙	種類	普通紙	カセット給紙：60～ 90g/m^2 MPF給紙　：60～ 135g/m^2	カセット給紙：105～ 157g/m^2 MPF給紙　：64～ 157g/m^2
		特殊紙	MPF給紙　：ラベル紙、専用OHPシート（N-OHPS）、官製ハガキ、封筒	
	サイズ		カセット給紙：A3縦、B4縦、A4横、B5横、A5横、レター横 MPF給紙　：幅90mm～297mm、長さ148mm～900mm	
給紙方式	標準 容量※1		カセット給紙：普通紙（64g/m^2）…………… 250枚 MPF給紙　：普通紙（64g/m^2）… 100枚（A4横まで） …… 30枚（B4～A3） ハガキ、ラベル紙…………… 30枚 OHPフィルム ……………… 50枚 長尺紙※2 ………………………… 1枚	カセット給紙：普通紙（128g/m^2）………… 150枚 MPF給紙　：普通紙（128g/m^2）… 30枚（A4横まで） … 20枚（B4～A3） ハガキ、ラベル紙 …………… 30枚 OHPフィルム ………………… 50枚 長尺紙※2 ………………………… 1枚
	オプション		拡張ペーパフィーダセット：250枚（64g/m^2）×2段	拡張ペーパフィーダセット：150枚（128g/m^2）×2段

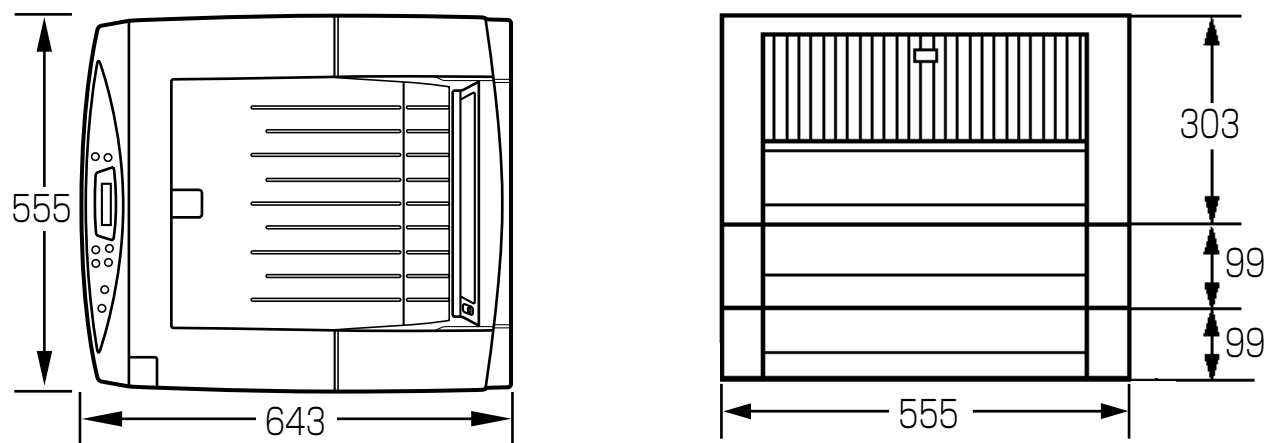
※1 MPFで給紙できる普通紙は、N4-614はA4サイズまでが高さ11mm以下、B4～A3サイズが6mm以下、N4-614PはA4サイズまでが高さ6mm以下、B4～A3サイズが4mm以下です。また、カセットで給紙できる普通紙はN4-614は高さ26mm以下、N4-614Pは高さ24mm以下です。
※2 長尺紙は105～135g/m^2（厚紙）をご使用ください。

<table>
<tr><th colspan="2">項目＼形式</th><th>N4-614</th><th>N4-614P</th></tr>
<tr><td rowspan="2">カセットの種類</td><td>標準</td><td colspan="2">ペーパカセット（A3ユニバーサル）</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td colspan="2">ペーパカセット（A3ユニバーサル）</td></tr>
<tr><td colspan="2">排紙方式：容量</td><td>フェイスダウン ：250枚（64g/m^2）
フェイスアップ ：100枚（64g/m^2、A4横以下）
：30枚（ハガキ、ラベル紙）
：50枚（OHPフィルム）</td><td>フェイスダウン ：150枚（128g/m^2）
フェイスアップ ：30枚（128g/m^2、A4横以下）
：30枚（ハガキ、ラベル紙）
：50枚（OHPフィルム）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ウエイト時間</td><td colspan="2">180秒以内（室温20℃、定格電圧時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファーストプリント時間</td><td colspan="2">22秒以内（1段カセット給紙、A4横）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">使用環境※3</td><td>動作時</td><td>温度：10～33℃
湿度：20～80%RH（結露なきこと）</td><td>温度：15～33℃
湿度：20～80%RH（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>非動作時</td><td colspan="2">温度：－5～40℃
湿度：20～80%RH（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">稼働音※4</td><td>プリント時</td><td colspan="2">55dB以下（本体正面）、58dB以下（全方向）</td></tr>
<tr><td>スリープ時</td><td colspan="2">39dB以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">使用電源</td><td colspan="2">AC100V±10%　50/60Hz</td></tr>
<tr><td colspan="2">消費電力</td><td colspan="2">最大：855W以下
プリント時平均：約410W、スリープ時平均：30W以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法（W×D×H）</td><td colspan="2">555mm×643mm×303mm
555mm×643mm×402mm（拡張ペーパフィーダセット1段装着時）
555mm×643mm×501mm（拡張ペーパフィーダセット2段装着時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">本体重量</td><td colspan="2">約43kg　（消耗品を除く）</td></tr>
<tr><td colspan="2">妨害波規格</td><td colspan="2">VCCIクラスA情報技術装置に適合</td></tr>
</table>

※3 温度30℃以上は湿度70%以下でご使用ください。
※4 断続的な尖頭ピーク値は除く。

項目 ＼ 形式		N4-614	N4-614P
消耗品		ドラムセット：約13,000枚／A4横 トナーセット：約 6,500枚／A4横（平均印字率5%、連続印字、常温常湿）	
本体耐久期間		5年又は30万枚(A4横送り)のいずれか早い方	
インターフェイス		パラレルインターフェイス×1(IEEE 1284/ECPモード対応※5) インターフェイス拡張スロット×1（拡張パラレルI/Fボード又はLAN I/Fボード用）	
CPU		64bit RISC R5000 (250MHz)	
システムRAM	標準	64MB	
	オプション	64MB/128MB(最大256MB：128MB×2枚)	
制御コード体系		(ESC/P･ESC/Page･201H)＋カシオ拡張コマンド	
内蔵フォント		平成明朝体、平成角ゴシック体、欧文フォント14書体、ANK、OCR-B	

※5 パソコン側のパラレルインターフェイスがECPモードに対応している必要があります。

外形寸法図

[概略寸法：単位mm]

付録 2. 用紙について

■使用できる用紙について

普通紙 一般にページプリンタ用、乾式コピー機用として販売されている上質紙、および再生紙がご使用いただけますが、より快適な印刷を行なうためには、次表のような弊社推奨用紙をご使用ください。推奨用紙以外をご使用の場合は、表内に記載されているサイズおよび使用可能坪量の範囲内の中性紙をご使用ください。

> ☑ ポイント
> **表内のサイズや厚さ（坪量）の用紙でも紙質等により紙詰まりが多発したり、画質が低下する事があります。大量の用紙をお買い求めになるときは、事前に十分テスト印刷を行ない、このようなトラブルが発生しない事をご確認ください。**

<table>
<tr><th rowspan="3">サイズ</th><th rowspan="3" colspan="2">推奨用紙名</th><th colspan="4">使用可能坪量(g/m²)</th></tr>
<tr><th colspan="2">N4-614</th><th colspan="2">N4-614P</th></tr>
<tr><th>ﾍﾟｰﾊﾟｶｾｯﾄ</th><th>ﾏﾙﾁﾍﾟｰﾊﾟﾌｨｰﾀﾞ</th><th>ﾍﾟｰﾊﾟｶｾｯﾄ</th><th>ﾏﾙﾁﾍﾟｰﾊﾟﾌｨｰﾀﾞ</th></tr>
<tr><td>A3</td><td>大昭和製紙

XEROX
ミノルタ販売
王子製紙</td><td>BM64T、BM64Y
しらおい
L紙
EP Paper
ホワイトやまゆり(再生紙)</td><td rowspan="3">60～90</td><td rowspan="3">60～135</td><td rowspan="3">105～157</td><td rowspan="3">64～157</td></tr>
<tr><td>B4</td><td>大昭和製紙

XEROX
ミノルタ販売
王子製紙</td><td>BM64Y
しらおい
L紙
EP Paper
ホワイトやまゆり(再生紙)</td></tr>
<tr><td>A4</td><td>大昭和製紙

XEROX
ミノルタ販売
王子製紙</td><td>BM64T、BM64Y
しらおい
L紙
EP Paper
ホワイトやまゆり(再生紙)</td></tr>
</table>

サイズ	推奨用紙名		使用可能坪量(g/m²)			
			N4-614		N4-614P	
			ペーパカセット	マルチペーパフィーダ	ペーパカセット	マルチペーパフィーダ
B5	大昭和製紙 XEROX ミノルタ販売 王子製紙	BM64Y しらおい L紙 EP Paper ホワイトやまゆり(再生紙)	60～90	60～135	105～157	64～157
A5	大昭和製紙 XEROX ミノルタ販売	BM64Y しらおい L紙 EP Paper	60～90	60～135	105～157	64～157

ポイント

129～157g/m² の厚紙はプリンタの紙送り方向に対してY目のものをご使用ください。用紙には裁断の方向によりY目とT目があります。また本プリンタは紙送り方向が用紙サイズにより異なりますので、以下のようになります。
A3Y目、B4Y目、A4T目、B5T目、A5T目

カラー印刷用 上質紙

より鮮やかなカラー印刷をするための上質紙です。
白色度・表面平滑度が高いため、本来の色に近いカラー印刷ができます。

種類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
カラー印刷用 上質紙	A3、A4	ミノルタ販売　CF Paper (80g/m²)

長尺紙

種類	サイズ	推奨紙名（商品コード）
長尺印刷用 上質紙	297×900mm 297×600mm	大昭和製紙　しらおい（105～135g/m²）

ポイント 裁断が直角でない用紙や裁断面にバリがある用紙および、長さに対して幅が極端に狭い用紙（90×900mm等）は斜め送りなど給紙不良の原因になりますので使用できません。

ポイント 長尺紙の使用方法、注意事項など詳細は ☞ 長尺紙（35ページ） を参照してください。

特殊紙

＜OHP フィルム＞

OHP フィルムは、次表の弊社指定の用紙をご使用ください。また、OHP フィルムは、マルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは ☞ OHPフィルム（31ページ） を参照してください。

種類	サイズ (mm)	型番	給紙装置
OHPフィルム	A4 (210×297)	N-OHPS	マルチペーパフィーダ 給紙容量　50枚

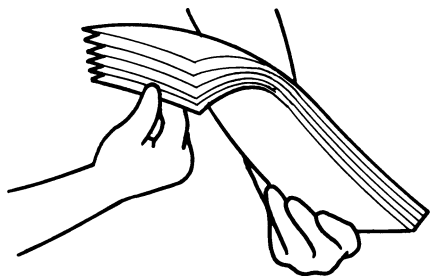
注意！ OHP フィルムは N-OHPS をご使用ください。その他の OHP フィルムを使用すると定着器に巻き付くなど故障の原因になる事があります。特にカラー複写機用やインクジェット用のOHPフィルムは使用できません。また、OHP フィルムに印刷するときはOHP モードで印刷してください。☞ OHPフィルム（31ページ）　普通紙モードで印刷すると画像不良が発生します。

＜ラベル紙・ハガキ・封筒＞

ラベル紙・ハガキは次表の弊社推奨の用紙をご使用ください。また、これらの特殊紙はマルチペーパフィーダから給紙してください。詳しくは ☞ ラベル紙（32ページ）、官製ハガキ（33ページ）、封筒（34ページ）を参照してください。

種類	サイズ (mm)	推奨用紙名 (商品コード)	給紙装置
ラベル紙	A4 (210×297)	XEROX （20面カット品：P/N V860） （ノーカット品：P/N V862）	マルチペーパフィーダ 給紙容量　30枚
ハガキ	通常 (100×148) 往復 (200×148)	官製ハガキ	
封筒	長形3号 (120×235)	ハート（株）ケント紙 80g/m^2 長形　3号	マルチペーパフィーダ 給紙容量　10枚

特殊紙使用上のご注意

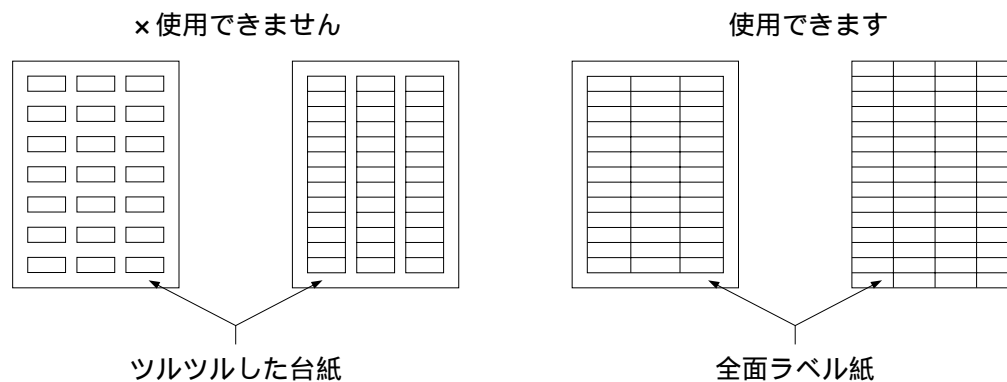
- ラベル紙・ハガキはカールがないものをご使用ください。
- 往復ハガキは折れ目がないものをご使用ください。
- 特殊紙の印刷品質は、推奨している普通紙の印刷品質より劣る事があります。
- 特殊紙に印刷するときには、複数枚が付着しないようによくさばいてください。
- 封筒はシワが発生する事があります。

用紙保管上のご注意

適切な用紙でも、保管状態が悪いと用紙が変質し、紙詰まりや画質不良の原因となります。用紙は、以下の事に注意して正しく保管してください。

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 開封後、残りの用紙は包装してあった紙に包み、キャビネットの中や湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙は立て掛けずに平らな場所に保管してください。
- シワ、折れ、カールなどがつかないように保管してください。
- 直射日光の当たらない場所に保管してください。

■使用できない用紙について

下記のような普通紙や特殊紙をお使いになると、紙詰まり・画質低下や故障などの原因となりますので使用しないでください。

- ● カラーインクジェット用紙
- ● N-OHPS 以外の OHP フィルム
- ● 厚すぎる用紙、薄すぎる用紙
- ● 本プリンタや他のプリンタで一度印刷された用紙
- ● コピー機で印刷済みの用紙
- ● シワや折れ、破れのある用紙
- ● ミシン目のある用紙、穴あき用紙
- ● 湿っている用紙、濡れている用紙
- ● カールしている用紙、静電気で密着している用紙
- ● 貼り合わせた用紙、ノリのついた用紙
- ● 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- ● 熱で変質するインクを使って印刷されている用紙、変質しやすい用紙
- ● 感熱用紙
- ● カーボン紙
- ● 酸性紙（酸性紙を長期間ご使用になると、ドラム表面が劣化して印刷が薄くなります。）
- ● ホチキス、クリップ、リボン、テープなどがついた用紙
- ● ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ● 凹凸や留め金や透明な窓のある封筒
- ● 台紙全体がラベルで覆われていないラベル用紙

付録 3. プリンタを運ぶとき

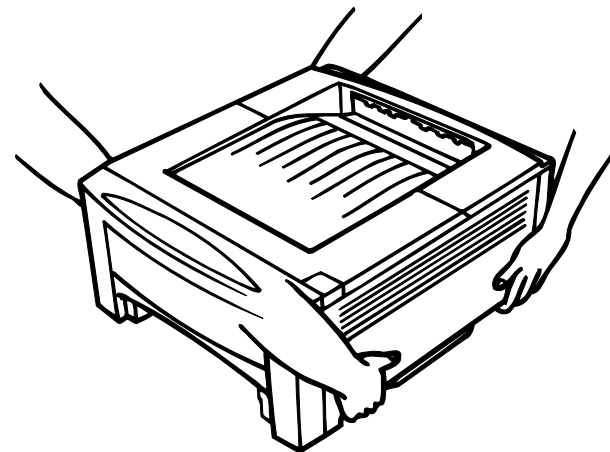
近くに移動するとき

プリンタの電源スイッチをオフにし、以下の付属品類を取り外し、下記の注意事項を守って、水平にゆっくりと移動してください。

- ●電源コード
- ●プリンタケーブル
- ●ペーパカセット内の用紙
- ●拡張ペーパフィーダ

⚠ 注 意

製品を持ち上げる際は、必ず 2 人以上で作業してください。
製品の重量は約 43kg あります。無理な姿勢で持ち上げて腰を痛めないようご注意ください。
図のように製品の取っ手をしっかりと持って、水平に持ち上げてください。取っ手以外の場所に手をかけたり、傾けて持ち上げるとプリンタの破損および落下によるけがの恐れがあります。

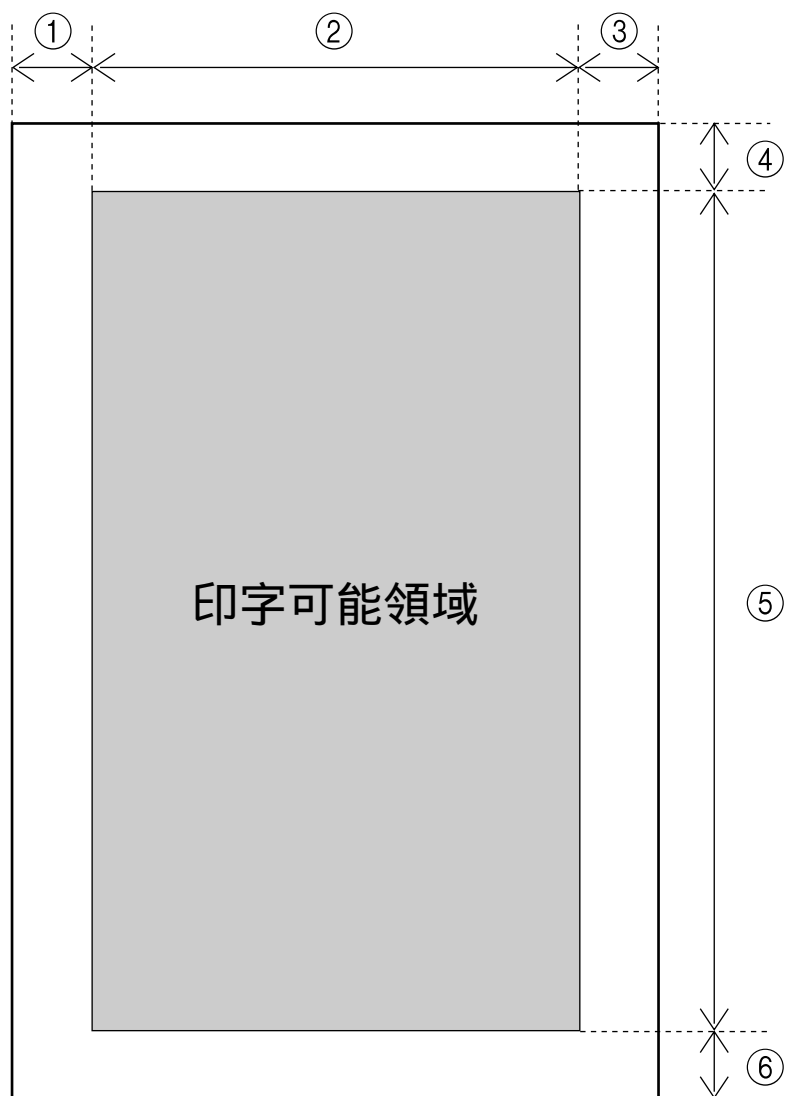
プリンタをキャスター付きの台に乗せるときは、必ずキャスターを固定して動かないようにしてから作業してください。作業中に台が動くとプリンタの落下などによりけがの原因になる事があります。

遠くに輸送するとき

本プリンタを輸送する場合は、取り付けてあるすべての付属品、消耗品、給紙装置などのオプション類を取り外し、本プリンタを購入時に使用されていた梱包材を、購入時と同じ状態に取り付けて梱包する必要があります。
本プリンタを輸送する場合は、お買い求めの販売店またはお近くのカシオテクノ・サービスステーション ☞（86 ページ）にご相談ください。

トナーセットやドラムセットは必ず取り外して、プリンタとは別に梱包して輸送してください。トナーセットやドラムセットを取り付けたまま輸送すると、プリンタ内にトナーがこぼれてプリンタの故障の原因になります。
適切な梱包を行わないで輸送した事によるプリンタの故障につきましては、保証期間中でも無償修理の対象外になりますのでご注意ください。

付録 4. 印字領域

各用紙サイズにおける最大印字可能領域は以下の通りです。

（単位：mm）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	5.0	287	5.0	5.0	410	5.0
B4	5.0	247	5.0	5.0	354	5.0
A4	5.0	200	5.0	5.0	287	5.0
B5	5.0	172	5.0	5.0	247	5.0
A5	5.0	138	5.0	5.0	200	5.0
Letter (LT)	5.0	206	5.0	5.0	269	5.0
ハガキ	5.0	90	5.0	5.0	138	5.0

（単位：ドット　600dpi 時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	120	6776	120	120	9680	120
B4	120	5832	120	120	8360	120
A4	120	4720	120	120	6776	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
Letter (LT)	120	4860	120	120	6360	120
ハガキ	120	2122	120	120	3256	120

（単位：ドット　300dpi 時）

	①	②	③	④	⑤	⑥
A3	60	3388	60	60	4840	60
B4	60	2916	60	60	4180	60
A4	60	2360	60	60	3388	60
B5	60	2030	60	60	2916	60
A5	60	1628	60	60	2360	60
Letter (LT)	60	2430	60	60	3180	60
ハガキ	60	1061	60	60	1628	60

※ アプリケーションソフトによっては上記最大印字領域まで印刷できないことがあります。

※ 長尺紙（A3 サイズより長い用紙）は①,②,③の余白を 10mm 以上、④の余白を 50mm 以上とって印刷してください。

付録 5. メモリ全般について

本プリンタは標準で 64MB のメモリを持っています。
本プリンタの優れた機能をご使用していただくためにメモリの増設をすることができます。

増設用メモリモジュール（オプション）

本プリンタは、メモリを増設するために、64MB/128MBの増設用メモリモジュールのいずれか２つを搭載することができます。（最大 256MB）
それぞれの型番については、下表を参照してください。

品　名	型　番
増設用メモリモジュール(64MB)	CP-SDR64M
増設用メモリモジュール(128MB)	CP-SDR128M

※ 最大 256MB にするには標準で装着されている 64MB のメモリと増設用メモリモジュール128MBとの差し替えが必要です。

★ 本プリンタは標準メモリ（64MB）でご使用いただけますが、連続印刷時の快適な印刷速度を確保するために、メモリを増設することを推奨します。また、オプション装置を接続した場合や印刷するデータによっても、メモリ増設することにより印刷速度が向上する場合があります。メモリサイズのガイドラインは以下の通りです。

	印刷書式	
用紙 サイズ	標準設定	写真・イメージや プレゼンテーション
A4	標準 (64MB)	標準 (計 64MB)
A3	+64MB (計 128MB)	+64MB (計 128MB)

***1) 標準メモリとの差し替えが必要です。**

※長尺紙を印刷する場合、

	印刷書式	
用紙 サイズ	標準設定 (高速)	標準設定 (高精細)
長尺紙 297x900mm	+64MB (計 128MB)	+128MB (計 192MB)

付録 6. 複数のインターフェイスを使用した際の運用について

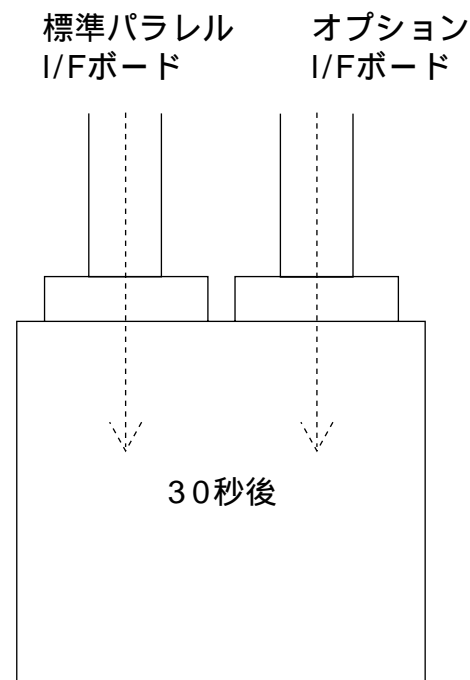
本プリンタは、標準で１口（セントロニクス）のインターフェイスを装備していますが、オプションの「LAN I/F ボード（CP-NW100SP）」や「拡張パラレル I/F ボード（CP-P107）」を増設することにより、合計２口のインターフェイスが使用できます。
ここでは、２口のインターフェイスを使用した際の運用について説明します。

インターフェイスの自動切り替え

本プリンタにオプションのLANボードなどを接続し、２口のインターフェイスを使用した場合（つまり受信口を２つにした場合）、２つのインターフェイスからのデータ受信を自動的に排他制御し、先に受信したインターフェイスからのデータを印刷します。

現在、受信しているインターフェイスからの印刷が完全に終了した後、タイムアウト時間を経過すれば、他方のインターフェイスもデータ受信可能となります。

タイムアウト時間は、リファレンスマニュアルの「メニュー設定」の「I/F 設定」→「I0 タイムアウト」の項目で設定できます。

例）タイムアウト時間を 30 秒に設定した場合

標準パラレル I/F 側①からデータ受信を行ない、処理データがなくなり、30 秒間経過した後、両方のインターフェイス①②が受信待ちになります。

※ ECP（1284準拠の双方向通信）機能は標準パラレルインターフェイス側のみ使用できます。オプションのパラレルインターフェイス側では使用できませんのでご注意ください。

付録 7. 保証について

6ヶ月サービス無償保証とお願い

■ お客様へのお願い

万一の故障に関しまして、その対応をスムーズに実施するために、弊社ではお買い上げいただいたお客様の登録をさせていただいております。
大変お手数とは存じますが、ご協力の程、お願い申し上げます。

① プリンタに同梱してあります「お客様登録カード」に必要事項をご記入の上、必ず設置時に投函をお願いいたします。
② カードが弊社に着信しだい「お客様登録」を実施し、弊社サービス部門より「保証書」を送付いたします。

保証書はプリンタご購入以後6ヶ月間、万一の故障に際し無償にて修理をさせていただくためのものです。保証書は再発行されませんので、大切に保管していただき、修理の際にご提示願います。
当保証書がない場合は、手続き中を除き有償修理とさせていただきますのでご了承ください。また、保証および保守・サービス・各問い合わせ窓口でのサポートは、本製品を日本国内でご使用になる場合に限らせていただきますのでご了承願います。

■ 保証規定

本機は高度な電子技術と機械技術(メカトロニクス)および万全の品質管理の下で造られた製品です。
通常のご使用において、万一故障が生じた場合は、お買い上げの日より6ヶ月間無償修理いたします。

次の場合は無償保証期間内でも有償となり、修理に要した実費を申し受けますのでご了承ください。

(1) 誤用・乱用による故障や取り扱い不注意による故障および損傷。
(2) 火災・天災などの災害による故障および損傷。
(3) 外装を開けた場合、不適当な修理や改造およびトナー、ドラムの消耗品の改造に起因する故障、損傷。
(4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷。
(5) ご使用中に、外装・操作パネル等に生じたキズなどの外観上の変化。
(6) 移動および運搬によって生じた故障および損傷。
(7) 「保証書」の提示がない場合、および本証に必要事項(お買い上げ日など)の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
(8) 用紙、ドラムトナーセットなどの消耗品、および定期交換部品。

- 無償保証期間経過後の修理は、実費にて申し受けます。
- 修理内容などの記録は、修理伝票にかえさせていただきます。

「保証書」は保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものであり、保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保守契約制度がありますので、カシオテクノ・サービスステーションにお申し込みください。
ご不明な点などありましたら、お客様のご相談窓口として最寄りの ☞カシオテクノ・サービスステーション(86ページ)をご利用ください。

付録 8. マニュアルの印刷とキーワードによる検索方法

印刷方法

本マニュアルはパソコンの画面で見やすいようにＡ４横でレイアウトされています。このまま印刷すると、パソコン画面と同じ様に１枚の用紙に１ページずつ印刷されます。

●マルチページ印刷をおすすめします

本プリンタのマルチページ印刷機能を利用して、１枚の用紙に２ページずつ印刷できます。

図：マルチページ印刷の設定

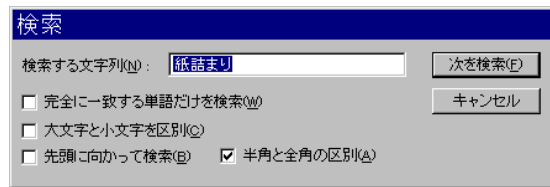
「ファイル」→「印刷」→「プロパティ」ボタン
「レイアウト」タブ画面

プリンタドライバのレイアウト画面で、図のように「用紙サイズ」をＡ４、「用紙方向」を横にして、「マルチページ」を選択（☑）すると、左のページレイアウト表示が図のようになり、１枚に２ページ印刷できます。（あらかじめ「印刷」画面の「用紙サイズに合わせる」を選択（☑）しておいてください。）

キーワードによる検索方法

本マニュアル内の調べたい項目を探すときは検索機能をご利用ください。

●検索の方法

（1） ツールバーの ボタンを押すと、検索ダイアログが表示されます。探したい文字列を入力して「検索」ボタンを押してください。

（2） 同じ文字列で次を探すときは、画面上で「右クリック」して「次を検索」を選びます。

付録 9.　色ズレの調整

SPEEDIA N4-614 シリーズでは、プリンタ設置時、またはドラムセット／トナーセット（シアン・マゼンタ・イエロー・ブラック）のいずれかを交換した場合、印刷結果に色のズレが発生することがあります。
このような場合、操作パネルまたはプリンタに添付されている☞「色ズレ調整ツール」（106ページ）を使用し、それぞれX 方向、Y 方向の色ズレ調整を行なってください。

9-1. 操作パネルによる色ズレの調整方法

プリンタの操作パネルで、「メンテナンス設定グループ」を使用して、色ズレの調整ができます。

1.　色ズレ調整の印字サンプルを印刷します。

インサツデ゛キマス

①［オンライン］を押してオフラインの状態にします。

B 0　イロズ゛レインサツ
▼　　Xザ゛ヒョウ

②［メニュー］を 2 回押します。

B 0　イロズ゛レインサツ
インサツチュウ

③［設定］を押して X 座標の色ズレ調整サンプルを印刷します。

B 0　イロズ゛レインサツ
▲　　Yザ゛ヒョウ

④［▼］を押して表示を「Yザヒョウ」に変えます。

B 0　イロズ゛レインサツ
インサツチュウ

⑤［設定］を押して Y 座標の色ズレ調整サンプルを印刷します。

2.　X 座標を調整します。

X 座標の色ズレ調整印字サンプルのシアンの行を参照し、左側の「正」のパターンに一番近いパターンを右側の 17 個の中から探し、その補正値を以下の手順で設定します。

B 1　Xチョウセイ　シアン
▼▲　＊0.0

⑥［項目］を 1 回押します。

B 1　Xチョウセイ　シアン
▼▲　　5.0

⑦［▼］または［▲］を押して色ズレ調整の印字サンプルから読み取った補正値に表示を合わせます。

B 1　Xチョウセイ　シアン
▼▲　＊5.0

・
・
・

⑧［設定］を押して補正値を確定します。（補正値が確定するまで多少時間がかかりますのでしばらくお待ちください。）
手順⑥に戻って［項目］を押すと、マゼンタの調整画面になりますので、シアン同様に x 座標の印字サンプルから読み取ったマゼンタの X 座標の補正値を設定します。
再度手順⑥に戻って同様にイエローの X 座標補正値を設定します。

3.　Y 座標を調整します。

Y 座標の色ズレの調整印字サンプルのシアンの行を参照し、左側の「正」のパターンに一番近いパターンを右側の 17 個の中から探し、その補正値を以下の手順で設定します。

B 4　Yチョウセイ　シアン
▼▲　＊0.0

⑨ 項目 を 1 回押します。

B 4　Yチョウセイ　シアン
▼▲　　5.0

⑩ ▼ または ▲ を押して色ズレ調整の印字サンプルから読み取った補正値に表示を合わせます。

B 4　Yチョウセイ　シアン
▼▲　＊5.0

⑪ 設定 を押して補正値を確定します。(補正値が確定するまで多少時間がかかりますのでしばらくお待ちください。)

手順 ⑨ に戻って 項目 を押すと、マゼンタの調整画面になりますので、シアン同様に Y 座標の印字サンプルから読み取ったマゼンタの Y 座標の補正値を設定します。

再度手順⑨に戻って同様にイエローの Y 座標補正値を設定します。

・
・
・

4.　調整結果を確認します。

・
・
・

B 1　Yチョウセイ　イエロー
▼▲　＊5.0

B 0　イロズ゛レインサツ
▼　　Xザ゛ヒョウ

⑫ 全ての補正値の設定が終わり、項目 を押すと、手順②の後の画面に戻りますので、手順③〜⑤によりX座標の色ズレ調整サンプルと Y 座標の色ズレ調整サンプルを印刷します。2 枚の印字サンプルの全ての色の補正値「0」の色ズレ確認パターンが「正」の色ズレ確認パターンとほぼ一致していることを確認します。全ての色ズレが調整されていないときは、手順⑥からもう一度補正値を設定しなおしてください。

インサツデ゛キマス

⑬ 以上で色ズレの調整は終了です。オンライン を押してオンライン状態にします。

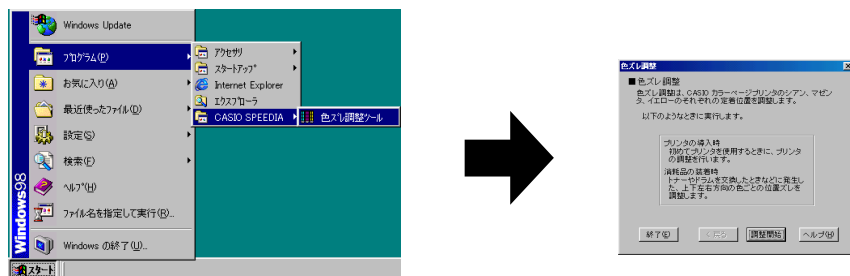
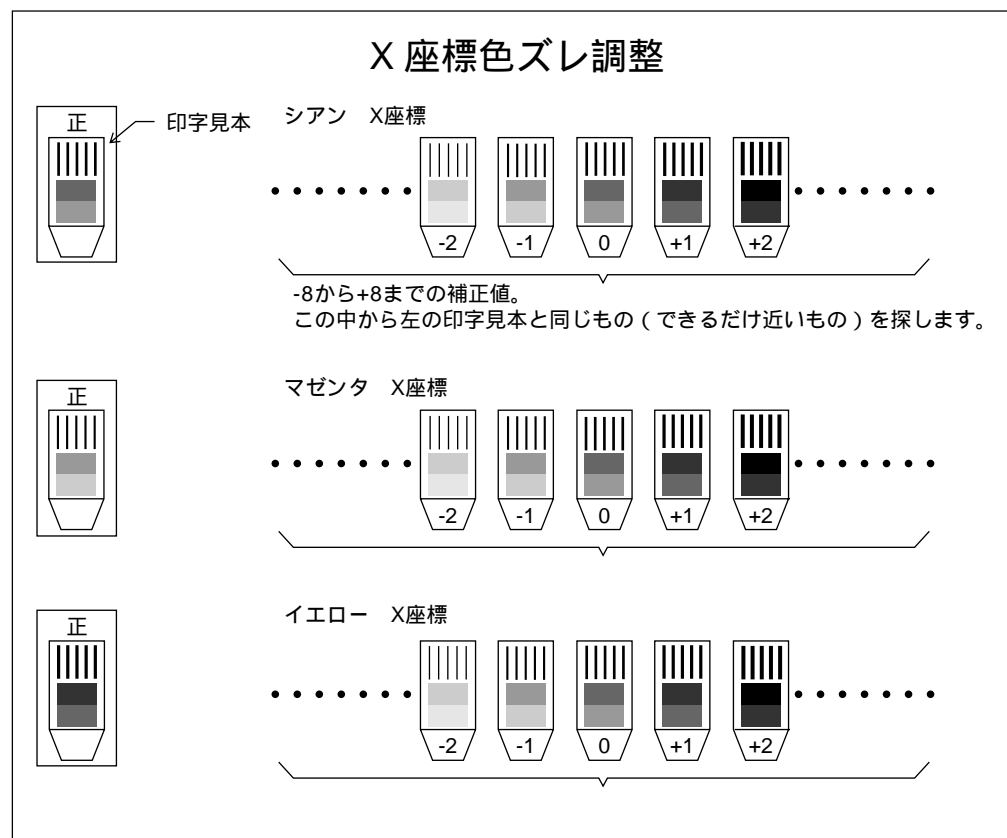
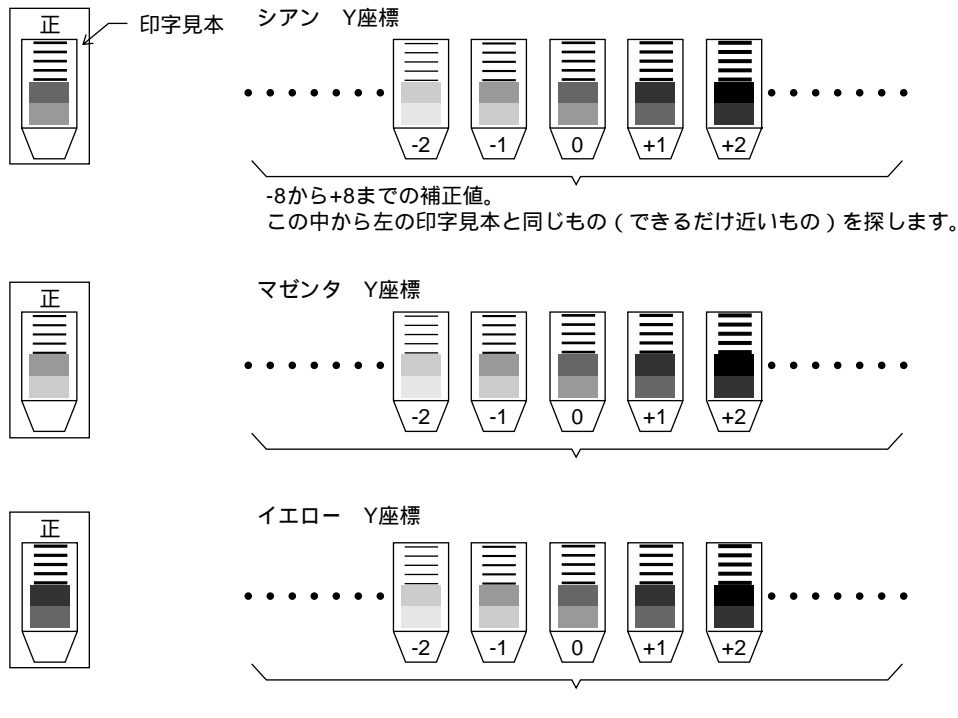
※ 手順 ① 〜 ⑫ の間に 項目 を押しすぎた場合は、項目 を何回か押すと元の手順に戻ります。

※ どうしてもわからなくなったときは オンライン を押して手順①に戻ってください。

9-2. 色ズレ調整ツールによる方法

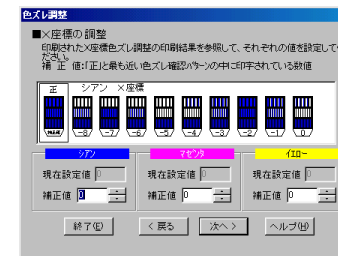
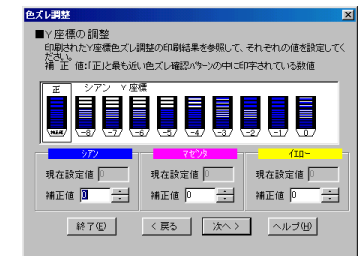
Windows95 及び WindowsNT4.0 では、「色ズレ調整ツール」により、パソコン側から色ズレの調整ができます。

※ 色ズレ調整ツールを使用するためには、あらかじめ SPEEDIA N4-614 の CD-ROM から、「色ズレ調整ツール」をインストールしてください。

1. 色ズレ調整ツールを起動します。
【スタート】ボタンを選択（クリック）し、【プログラム（P）】を開き、その中の「CASIO SPEEDIA」グループから「色ズレ調整」を選択（クリック）すると、色ズレ調整ツールの初期画面が表示されます。

2. 色ズレ調整ツールの画面に従って、色ズレ調整の印字サンプルを出力します。（出力の方法等の詳細に関しては、色ズレ調整の各画面でヘルプを参照してください。）
下記のような X 座標、Y 座標の 2 種類の印字サンプルが出力されます。

注意！ 上記印字サンプルは、実際の印字はカラーで印刷されます。
また、上記印字サンプルは途中が省略されています。

3. 前ページの出力された印字の左側にシアン・マゼンタ・イエローの印字見本がありますので、それと同じもの（できるだけ近いもの）をそれぞれ右側の 17 個の中から探します。（X 座標、Y 座標ともに行います。）

4. 次に、2. で選んだ印字の補正値の数値をそれぞれ色ズレ調整ツール側のメッセージに従い入力します。
   例）印字見本（X 座標）でそれぞれ選んだ補正値の数値がシアン「0」、マゼンタ「ー 1」、イエロー「+1」の場合、色ズレ調整ツールに上記の値（補正値の数値）を入力します。

（X 座標の入力画面）

（Y 座標の入力画面）

5. 再度、「色ズレ調整」を印刷し、左側の印字見本と右側の「補正値 0」の印字とがあっているか確認します。

6. 色がまだ「補正値 0」とあっていない場合は、再度調整を行います。
   「補正値 0」とあってれば、色ズレ調整ツールを終了し、色ズレ調整は完了です。

カシオ計算機株式会社
システム営業統轄部　ページプリンタ企画促進課

〒151-8543　東京都渋谷区本町1－6－2
電話 03-5334-4552

ページプリンタ営業部	電話 03-5334-4550
西日本営業部	電話 06-6243-2100
中部営業部	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道支社	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北支社	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国支社	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国支社	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州支社	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557

インターネット・ホームページ　http://www.casio.co.jp/ppr/

SPEEDIA N4 614

ハードウェアマニュアル

2002年6月24日　第6版発行

カシオ計算機株式会社
カシオ電子工業株式会社

＊ 本装置は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によって異なります。本装置および関連消耗品などをこれらの規制に違反して諸外国に持ち込むと罰則が課されることがあります。

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。